

パナソニックの会員サイト「CLUB Panasonic」で「ご愛用者登録」をしてください

お宅の家電情報をまとめて登録管理！ エンジョイポイントをためてプレゼントに応募！

PC

http://club.panasonic.jp/

携帯

http://mobile.club.panasonic.jp/

※ご愛用者登録には、CLUB Panasonic 会員への登録が必要です。

※登録時は、商品の品番を事前にご確認ください。

※このサービスは WEB 限定のサービスです。

●使いかた・お手入れなどのご相談は…

パナソニック 総合お客様サポートサイト

http://panasonic.co.jp/cs/

パナソニック お客様ご相談センター

365日 受付9時～20時

電話 フリーダイヤル **0120-878-365**

※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

音声ガイダンスを短くするには、案内が聞こえたら電話機ボタンの「87」と「540#」を押してください。

(番号を押しても案内が続く場合は、「※」ボタンを押してから操作してください。)

■上記番号がご利用いただけない場合 ■FAX フリーダイヤル **0120-878-236**

Help desk for foreign residents in Japan Tokyo (03) 3256-5444 Osaka (06) 6645-8787

Open: 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays/Sundays/national holidays)

※上記の内容は、予告なく変更する場合があります。ご了承ください。

●修理に関するご相談は…

パナソニック 修理サービスサイト

http://club.panasonic.jp/repair/

インターネットでのご依頼も可能です。

パナソニック 修理ご相談窓口

電話 フリーダイヤル **0120-878-554**

※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

・上記電話番号がご利用いただけない場合は、各地域の「修理ご相談窓口」におかけください。

ご使用の回線（IP 電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。本書の「保証とアフターサービス」もご覧ください。

愛情点検

長年ご使用のリアルプロの点検を！

こんな症状はありませんか？

- コードや電源プラグが異常に熱い。
- 動作中に異常な音、振動がある。
- スイッチを入れても、時々運転しないことがある。
- 本体が変形していたり、コゲくさい臭いがする。

ご使用中止

故障や事故防止のため、使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いて、必ず販売店に点検をご相談ください。

使いかたによりますが、目安として1日30分のご使用で1～2年程度に1度点検していただきますと、より長く快適にご使用になれます。

地球の環境保護のため、廃棄するときはそのまま放置しないで各自治体の取り決めに従ってください。



Panasonic®

添付文書
取扱説明書

家庭用

品番

リアルプロ EP7000

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。

ご使用前に「安全上のご注意」(4～7ページ)を必ずお読みください。

保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

保管用
保証書別添付



もくじ

ご使用前に



安全上のご注意	4 ~ 7
各部のなまえとはたらき	8 ~ 11
設置する	12 ~ 13
組み立てる	14 ~ 19
毎回マッサージをはじめる前に	20 ~ 21

使い方



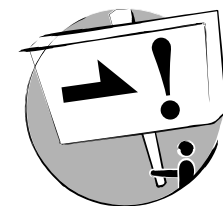
簡単な使い方	22 ~ 23
全身を自動でマッサージしたい 全身自動コース・クイック5分コース	24 ~ 27
「肩だけ」など疲れた場所だけマッサージしたい 体の場所ごとのお疲れ度合いに合わせてマッサージしたい 問診コース	28 ~ 30
「首をもみたい」「肩をたたきたい」などお好みの場所を お好みの動作で集中してマッサージしたい お好み動作	31 ~ 33
メカ(もみ玉による上半身のマッサージ)を調節したい そこ揉ねつ・そこもつ・もみ手・位置調節・メカ強さ・メカ速さ	34 ~ 36
「脚・足裏」「おしり・ふともも」 「手・腕」「肩外」をマッサージしたい エアーマッサージ	37 ~ 40
ストレッチマッサージを使う	41 ~ 42
リクライニング角度や脚のせ台を調節する	43 ~ 44
音声ナビの音量を調節する	45
操作器スタンドや枕を調節する	46
ユーザープログラム機能を使う	47 ~ 50
マッサージを終了する	51 ~ 52

お手入れ・
Q&A



お手入れのしかた	53
本体を移動するときは	54
Q&A	55 ~ 60

お知らせ



定格・仕様	61
故障かな?と思ったとき	62 ~ 63
保証とアフターサービス	66

リアルプロの効果・効能

あんま、マッサージの代用

- 疲労回復
- 血行の促進
- 筋肉の疲れをとる
- 筋肉のこりをほぐす
- 神経痛・筋肉痛の痛みの緩解

		参照ページ
基本機能	全身自動コース・クイック5分コース	P.24
	問診コース	P.28
	お好み動作	P.31
調節機能	そこ揉(じゅう)ねつ機能	P.34
	そこもつと機能	P.34
	もみ手チェンジ機能	P.34
	メカ(もみ玉による上半身のマッサージ)の強さ・速さ・位置の調節	P.35
エアー マッサージ	脚・足裏マッサージ	P.38
	おしり・ふとももマッサージ	P.40
	手・腕マッサージ	P.39
	肩外マッサージ	P.40
ストレッチマッサージ	脚ストレッチ	P.42
	肩・腕ストレッチ	P.42
その他	リクライニング角度調節	P.43
	脚のせ台角度調節	P.43
	脚のせ台スライド調節	P.44
	音声ナビ	P.45
	操作器スタンド・枕	P.46
	ユーザープログラム機能	P.47


安全上のご注意～必ずお守りください～


人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。
誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

警告 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

注意 「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)

 してはいけない内容です。

 実行しなければならない内容です。

警告



必ず守る

- 医師の治療を受けているときや下記の人は必ず医師と相談のうえ使用する。
(1)ペースメーカーなどの電磁障害の影響を受けやすい体内植込型医用電気機器を使用している人
(2)悪性しゅよう(腫瘍)のある人
(3)心臓に障害のある人
(4)妊娠中や出産直後の人
(5)糖尿病など高度な末梢循環障害による知覚障害のある人
(6)骨粗しょう(鬆)症の人、せきつい(脊椎)を骨折している人、ねんざ(捻挫)、肉離れなどの急性とう(疼)痛性疾患の人
(7)施療部位に創傷のある人
(8)体温38 以上(有熱期)の人
(例:急性炎症症状[けん急感、悪寒、血圧変動など]の強い時期、衰弱しているとき)
(9)安静を必要とする人や著しく体調のすぐれないとき
(10)背骨に異常のある人、曲がっている人
(11)椎間板ヘルニア症の人
(12)上記以外に身体に特に異常を感じているとき
守らないと事故や体調不良をおこすおそれがあります。
- 使用中に身体に異常があらわれたり感じたときや使用しても効果があらわれない場合は、直ちに使用を中止し、医師に相談する。
守らないと事故や体調不良をおこすおそれがあります。
- マッサージ使用中や背もたれ、脚のせ台を動かすときは、必ず周囲(本体の後部・下部・前部・側部)に人やペットがいないことを確認する。
- 肩・腕ストレッチ機能を「入」にするときは、必ず本体の後部に人やペットがいないことを確認する。
- 体型センシングしたときは必ず肩位置が合っているか確認する。合っていないときは位置調節ボタンで肩の高さを調節するか、マッサージを停止して再度体型センシングを行なう。
(全身自動コース、クイック5分コース、問診コース、お好み動作のとき)
守らないと事故やけがのおそれがあります。

警告



必ず守る

- ご使用前には、必ず背クッションを上げて、本体の布地が破れていないか確認する。
また、その他の部分にも布地の破れがないか確認する。
(どんなに小さな破れでも、直ちに使用を中止し、電源プラグを抜き、修理を依頼してください。)
布地が破れた状態で使用するとけがや感電のおそれがあります。
- はじめは弱い刺激でマッサージする。また、マッサージは1回15分以内に。また、同一か所への使用は5分以内にする。
守らないと逆効果やけがのおそれがあります。
- 使用後は必ず電源スイッチを「切」、施錠スイッチを「閉」にし、施錠キーを抜く。
守らないとお子様のいたずらによる事故やけがのおそれがあります。
- 電源プラグは根元まで確実に差し込む。
守らないと感電や発熱による火災の原因になります。
- 電源プラグのほこり等は定期的にとる。
守らないと、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。



禁止

- 次の人は使用しない。
医師からマッサージを禁じられている人。(例:血栓(塞栓)症、重度の動脈リゅう(瘤)、急性静脈リゅう(瘤)、各種皮膚炎および皮膚感染症[皮下組織の炎症を含む]など)
症状を悪化させるおそれがあります。
- 首周辺をマッサージするときは、もみ玉の動きに注意して、首の前方や過度に強いマッサージはしない。
● 背もたれやひじ掛けの上にのらない。
● お子様に使わせない。また、本体の上で遊ばせたり、背もたれ・座面・ひじ掛けの上にのらせない。
● 自分で意思表示ができない人、または、自分で操作できない人は使わない。
事故やけがのおそれがあります。
- コンセントや配線器具の定格を超える使い方や交流100V以外での使用はしない。
(海外でのご使用や変圧器を用いたご使用はできません。)
感電・故障や発熱による火災の原因になります。
- 電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない。
(傷つけたり、加工したり、熱機器に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物をのせたり、束ねたりしない。)
傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。
電源コードや電源プラグの修理は、販売店または「修理ご相談窓口」にご相談ください。



ぬれ手禁止

- ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない。
感電の原因になります。



分解禁止

- 絶対に改造しない。また、ご自分で分解したり、修理をしない。
発火したり、異常動作して、けがをするおそれがあります。

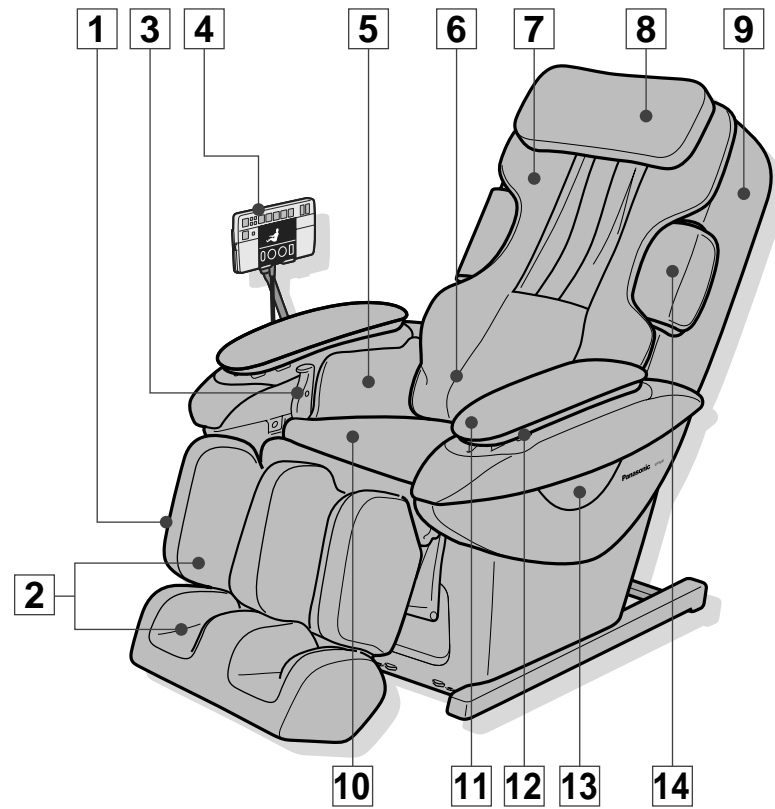
⚠注意	
⚠ 必ず守る	<ul style="list-style-type: none">● 現在健康でも下記のような人は必ず医師と相談のうえ使用する。 (1) 加齢により筋肉の衰えた人や痩身の人(2) 骨や内臓に起因する腰痛の人 (3) 打ち身やねんざのしやすい人(4) 乗物酔いの激しい人(5) 過去に心臓や内臓の手術をされた人 守らないと健康をそこなうおそれがあります。
	<ul style="list-style-type: none">● もみ玉が収納位置にあることを確認してから座る。● 本体に異物がはさまっていないか確認してから座る。 (背もたれ、脚・足裏マッサージ部、おしり・ふともも横マッサージ部、手・腕マッサージ部、 肩外マッサージ部に異物がはさまっていないか確認する。) 守らないと事故やけがのおそれがあります。
	<ul style="list-style-type: none">● 頭部につけた髪かざりなどの硬いものははずしてから座る。● 手・腕をマッサージするときはつけ爪・時計・指輪などの硬いものをはずす。● おしり・ふともも横をマッサージするときは、ズボンのポケットから硬いものを取り出す。 守らないとけがのおそれがあります。
	<ul style="list-style-type: none">● マッサージ中に本体から降りるときは、必ず動作を止めてから降りる。 守らないと事故やけがのおそれがあります。
	<ul style="list-style-type: none">● 電源プラグを抜くときは電源コードを持たず、必ず電源プラグを持って抜く。 守らないと感電やショートのおそれがあります。
	<ul style="list-style-type: none">● 安全のためにアースを確実に取り付け。(P.16 参照) 守らないと故障や漏電のときに感電のおそれがあります。
	<ul style="list-style-type: none">● 本体を移動するときは、必ず脚のせ台のスライドを完全に戻す。 守らないと移動中にスライドが戻り、けがをするおそれがあります。
	<ul style="list-style-type: none">● キャスターで移動するときは、周囲の障害物を取り除き、背もたれを完全に起こした状態で脚のせ 台を腰より低く持ち上げ(床から約80cm以下)、ゆっくり移動する。 守らないと転倒による事故やけがのおそれがあります。
	<ul style="list-style-type: none">● 水平な場所で使用する。 守らないと本体が倒れて事故のおそれがあります。
	<ul style="list-style-type: none">● 動かない場合や、異常を感じたときは使用を中止し、すぐに電源プラグを抜いて点検修理を依頼する。 守らないと感電や発火のおそれがあります。
⚠ 禁止	<ul style="list-style-type: none">● 本品の使用によって発疹、発赤、かゆみなどの症状があらわれた場合は、使用を中止し医師に相談する。 守らないと事故や体調不良のおそれがあります。
	<ul style="list-style-type: none">● 施錠キーは、子供の手の届かない場所に保管する。 守らないと誤飲やいたずらによる事故やけがのおそれがあります。
	<ul style="list-style-type: none">● 他の治療器と同時に使用しない。 事故や体調をくずすおそれがあります。
	<ul style="list-style-type: none">● 取付ネジや操作器ホルダーの固定ネジは取りはずしたまま放置しない。 誤飲のおそれがあります。
⚠ 禁止	<ul style="list-style-type: none">● 脚のせ台が完全に下がっていないときに、脚のせ台の上ののったり、立ったり、物をのせたりしない。 本体が転倒したり、脚のせ台の足先部が回転したりすることによる事故やけがのおそれがあります。

⚠注意	
⚠ 禁止	<ul style="list-style-type: none">● もみ玉に頭、おなか、素肌をあてない。また、もみ玉に手や脚をはさまない。● 脚・足裏マッサージ部にひざをはさまない。● 肩に痛みがある人や脱臼しやすい人は、肩・腕ストレッチを使用しない。● 使用中に眠らない。また、飲酒後の使用はしない。 事故やけがのおそれがあります。
	<ul style="list-style-type: none">● 下記のような本体の隙間に手や脚を入れない。 (1) 背もたれと座面・ひじ掛けの隙間 (2) 脚のせ台と座面・ひじ掛けの隙間 (3) 座面とひじ掛けの隙間● 脚のせ台の裏側や脚のせ台と床の間に手・指・脚や頭を入れない。● 肩外マッサージ部と背もたれの隙間に指を入れない。● マッサージ使用中に電源プラグを抜いたり、電源スイッチを「切」にしない。 けがのおそれがあります。
	<ul style="list-style-type: none">● 設置された状態のまま、本体を引きずったり押したりしない。● 床やたたみの上で、キャスターを使って移動させない。 (必ずマットなどを敷いてください。) 床やたたみに傷がつくおそれがあります。
	<ul style="list-style-type: none">● 人をのせたまま移動しない。 転倒による事故やけがのおそれがあります。
	<ul style="list-style-type: none">● ホットカーペットなどの暖房器具の上で使わない。 火災のおそれがあります。
⚠ 水場使用禁止	<ul style="list-style-type: none">● 浴室など湿気の多い場所で使わない。 感電や故障の原因になります。
⚠ 水ぬれ禁止	<ul style="list-style-type: none">● 本体や操作器には水などをこぼさない。 感電やショート、故障の原因になります。
⚠ 電源プラグ を抜く	<ul style="list-style-type: none">● お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜く。 感電ややけどのおそれがあります。
	<ul style="list-style-type: none">● 停電のときは直ちに電源プラグを抜く。 停電復帰時、事故やけがのおそれがあります。
	<ul style="list-style-type: none">● 使用時以外は電源プラグをコンセントから抜く。 ホコリや湿気で絶縁劣化になり、漏電火災の原因になります。

各部のなまえとはたらき

▶ 本体

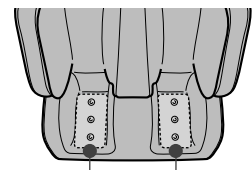
表側



1 脚のせ台

2 脚・足裏マッサージ部

エアー(空気)による
マッサージ機能内蔵。



足裏指圧シート

裏面に「すべり止め」付き。
位置を微調節可能。
着脱可能。

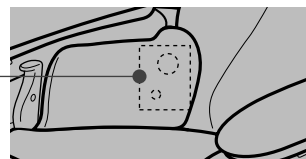
3 脚スライドレバー

脚のせ台スライド量:
約12cm。

4 操作器

P.10 ~ 11参照

5 おしり・ふともも横
マッサージ部



おしり横指圧シート(内蔵)
位置を微調節可能。

6 もみ玉収納位置

7 背クッション

8 枕

9 背もたれ

メカ(もみ玉=もみ機構部)
によるマッサージ機能内蔵。

10 座面

エアー(空気)による
マッサージ機能内蔵。

11 ひじ掛け

12 手・腕マッサージ部

エアー(空気)による
マッサージ機能内蔵。



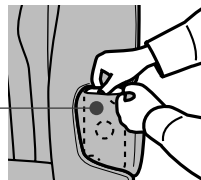
(財)日本染色検査会で
JIS L 1902-2002の
基準により評価したもの
です。
(手のひら部)

13 操作器スタンド取付部カバー

左右両方にあります。

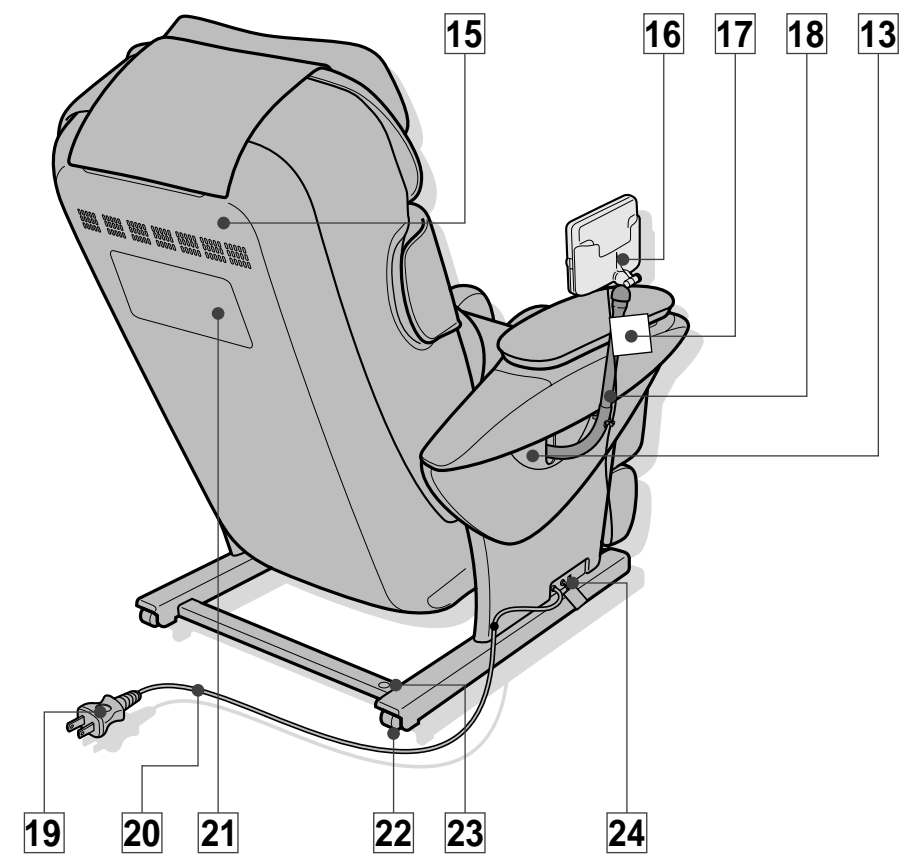
14 肩外マッサージ部

エアー(空気)による
マッサージ機能内蔵。



肩外用指圧シート
位置を微調節可能。
着脱可能。

裏側



15 裏カバー

16 操作器ホルダー

17 注意シール

18 操作器スタンド

19 電源プラグ

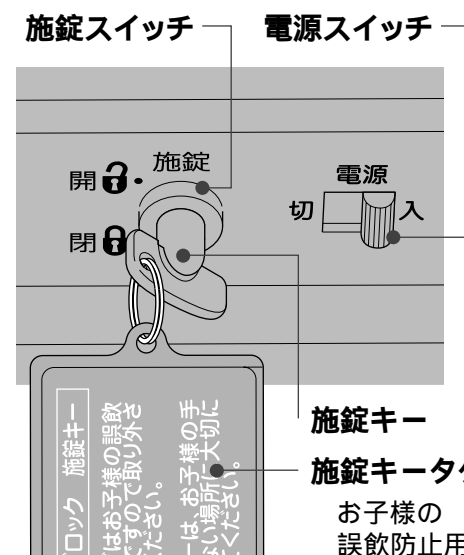
20 電源コード

21 安全上のご注意(シール)

22 キャスター

23 アース端子

24 電源ボックス



施錠キー

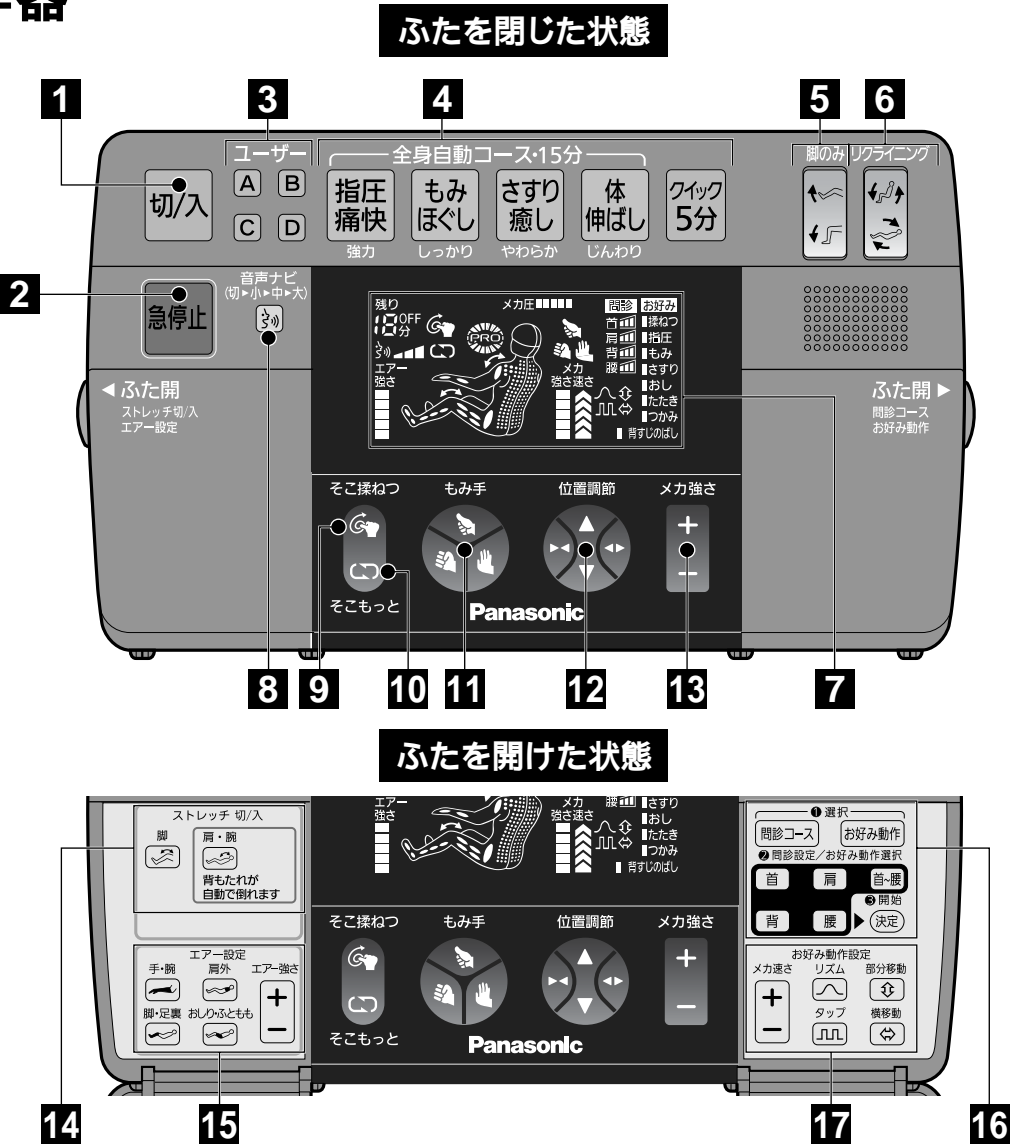
施錠キータグ

お子様の
誤飲防止用。
お買い上げ時は施
錠スイッチは
「開」、電源スイッ
チは「入」になって
います。

各部のなまえとはたらき(続き)

▶ 操作器

使用前に

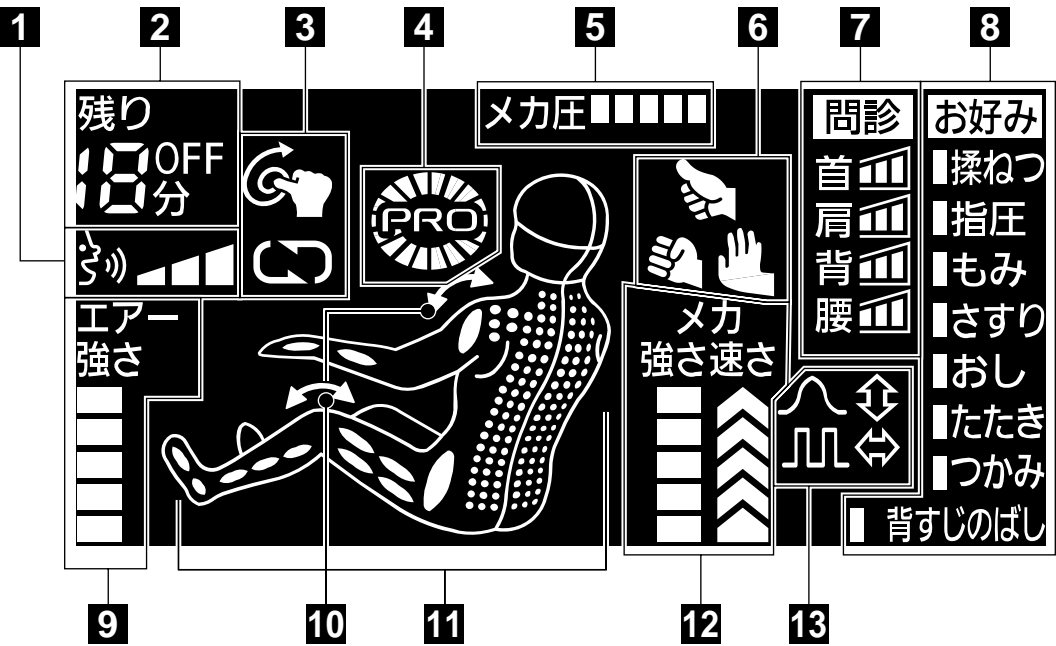


- 1 切/入ボタン**
連続して使用すると操作器が
あたたかくなることがあります。
P.59参照
- 2 急停止ボタン**
マッサージを急いで停止し
たいときに押します。
- 3 ユーザープログラムボタン**
P.47～50参照
- 4 自動コース選択ボタン**
P.24参照
- 5 脚のせ台角度調節ボタン**
P.43参照
- 6 リクライニング角度調節ボタン**
P.43参照
- 7 表示部**
すべて点灯した状態のイラストです。
P.11参照

- 8 音声ナビ音量調節ボタン**
P.45参照
- 9 そこ揉(じゅう)ねつボタン**
「揉ねつ」はマッサージ動
作の名称です。
P.33～34参照
- 10 そこもっとボタン**
P.34参照
- 11 もみ手ボタン**
P.34参照
- 12 位置調節ボタン**
P.35参照

- 13 メカ強さ調節ボタン**
「メカ強さ」とは背もたれに
内蔵されているもみ玉による
マッサージの強さのことです。
P.35参照
- 14 ストレッチ切/入ボタン**
P.41参照
- 15 エアー設定ボタン**
「エアー」とはエアーバッグの
伸縮によるマッサージのことです。
P.37参照
- 16 問診コース・
お好み動作選択ボタン**
P.28～30参照
- 17 お好み動作設定ボタン**
P.31～33参照

表示部



すべて点灯した状態のイラストです。

- 1 音声ナビ音量表示**
P.45参照
切 〇
小 〇
中 〇
大 〇

- 2 残り時間表示**
(マッサージ中) 残り 12分
(終了中) OFF

- 3 そこ揉(じゅう)ねつ・
そこもっと表示**
P.34参照
(そこ揉ねつ) 〇
(そこもっと) 〇

- 4 ユーザープログラム表示**
ユーザープログラム機能がは
たらいたときに点灯します。
P.47～50参照

- 5 メカ圧表示**
メカ(もみ玉)にかかる
圧力を表示します。
P.56参照
- 6 もみ手表示** P.36参照
現在のもみ手や選択した
もみ手を表示します。
親指感覚
手のひら感覚
こぶし感覚

- 7 問診設定表示**
P.28～30参照

- 8 お好み動作選択表示**
P.31～33参照

- 9 エアー強さ表示**
P.37参照

- 10 ストレッチ動作表示**
脚ストレッチや
肩・腕ストレッチの
切/入状態を表示します。

- 入：点灯
切：消灯
動作中：点滅

- 11 マッサージエリア表示**
現在マッサージしている場所
が点滅します。
マッサージエリア表示は位
置についてはおおまかな
表示になっています。
そのため表示と実際の
感覚とは若干のずれが
発生する場合があります。
- 12 メカ強さ・速さ表示**
メカ(もみ玉)の強さや
速さを表示します。
速さはお好み動作のとき
のみ表示します。

- 13 お好み複合動作表示**
お好み動作に付け加えた
動作を表示します。
P.32参照
リズム
タップ
部分移動
横移動

使用前に

設置する

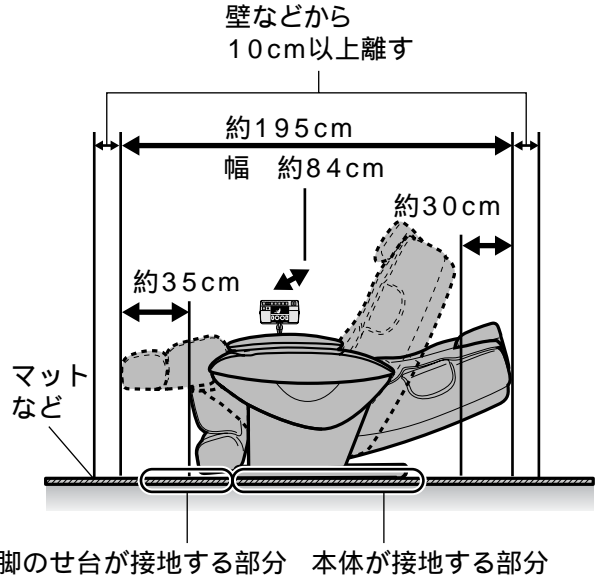
1 設置する場所を決める

リクライニングできるスペースを確保してください。

注意

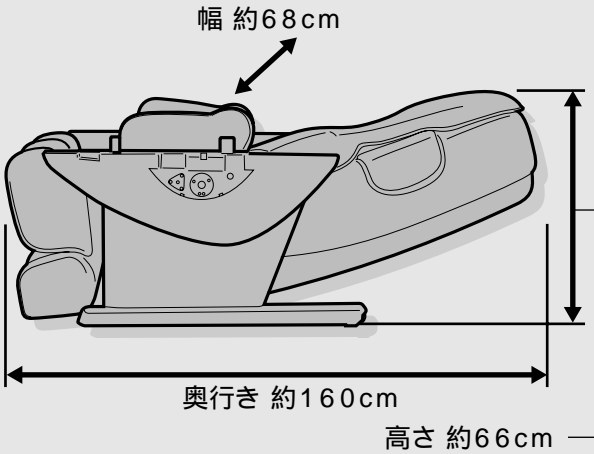
- 浴室など湿気の多い場所で使わない。
感電や故障の原因になります。
- 水平な場所で使用する。
守らないと本体が倒れて事故のおそれがあります。
- ホットカーペットなどの暖房器具の上で使わない。
火災のおそれがあります。

直射日光が毎日長時間あたるところや、暖房器具の近くなど高温になるところへの設置は避けてください。合成皮革が変色したり、変質するおそれがあります。たたみや床を傷つけることがありますので、本体の下にマットなどを敷くことをお勧めします。本体と脚のせ台が接地する部分を覆える大きさ（最低120cm×70cm）のものをご用意ください。コンセントの近くに設置してください。

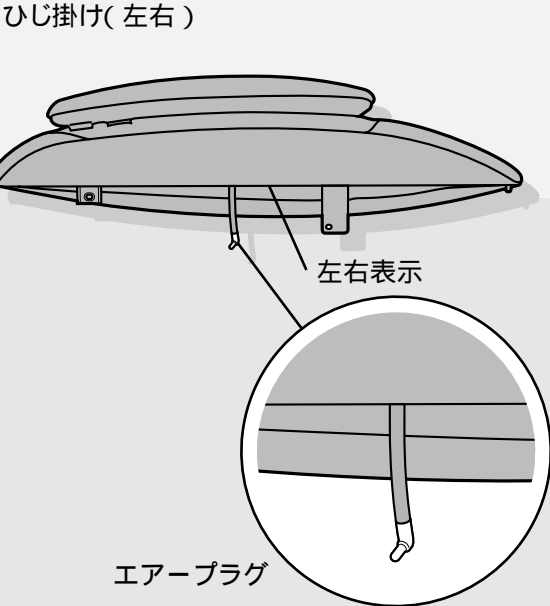


梱包箱には本体と付属品が入っていることを確認してください

本体



付属品



ひじ掛け裏側の布地部の穴は、製造工程上のものであり異常ではありません。

2 梱包箱から本体と付属品を取り出し商品を設置する

注意

- 設置された状態のまま、本体を引きずったり押ししたりしない。
- 床やたたみの上で、キャスターを使って移動させない。（必ずマットを敷いてください。）床やたたみに傷がつくおそれがあります。
- 人を乗せたまま移動しない。
転倒による事故のおそれがあります。

重量物ですので搬入時には腰などを痛めないようにご注意ください。（必ず2人で運んでください。）

本体重量 約78kg

本体を下ろすときは

十分足元に注意してゆっくり下ろしてください。脚のせ台は最後まで手をそえて下ろしてください。途中で手を離すと勢いよく戻ります。

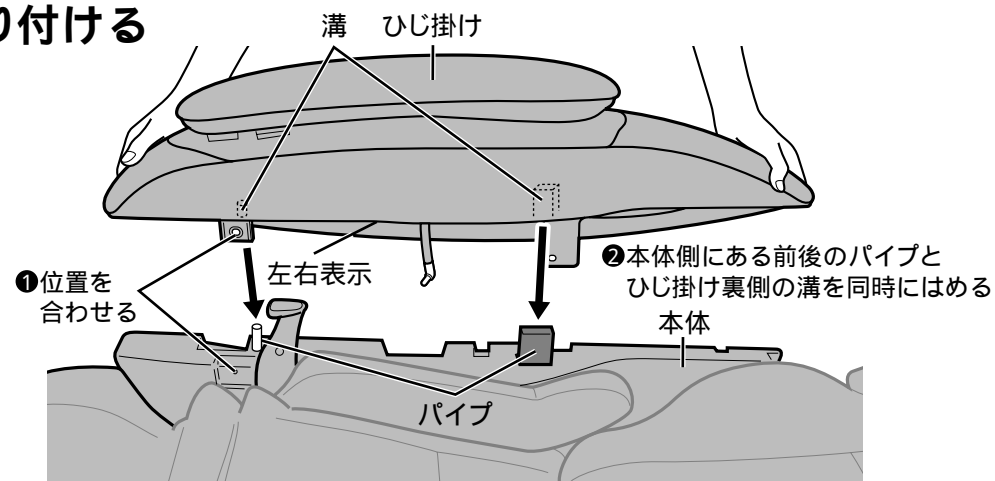


組み立てる

1 ひじ掛けを取り付ける (左右両方)

ひじ掛けを 本体にはめ込む

指をはさまないように
注意してください。

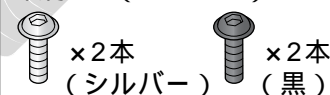


取付ネジで固定する

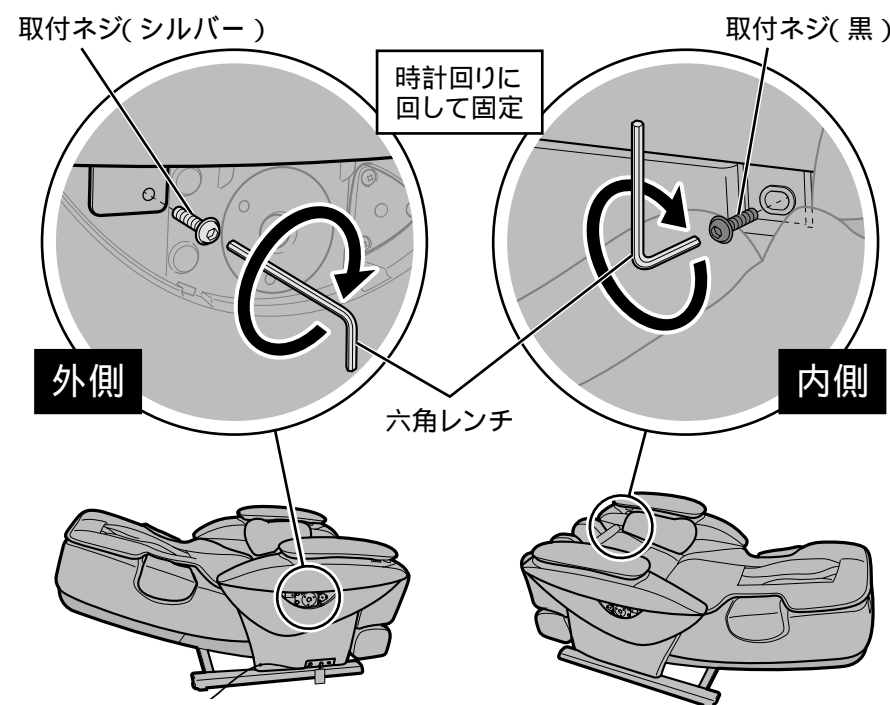
はじめに2か所を手で軽く
締めたあと、六角レンチで
増し締めしてください。

使用するネジ

取付ネジ (M6×16)

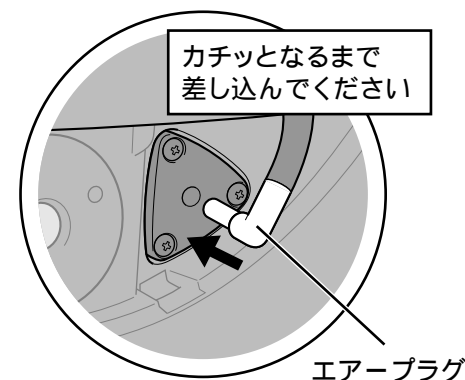


座面に傷をつけないように
注意してください。

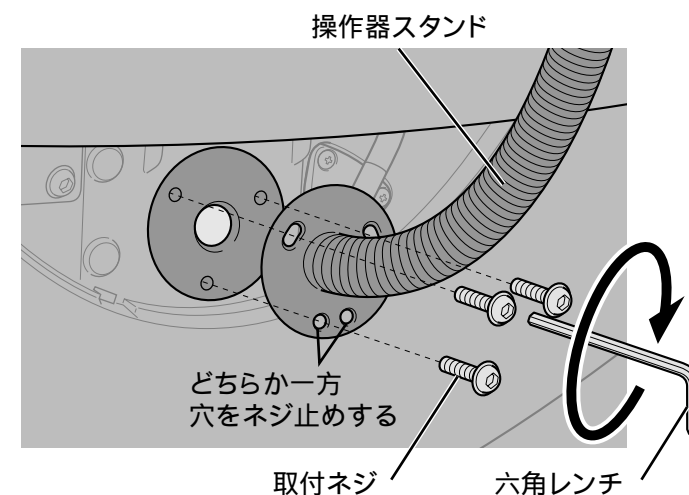


2 エアープラグを接続する (左右両方)

エアープラグを本体に差し込む。

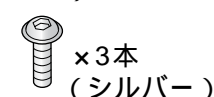


3 左右どちらかの本体側面に 操作器スタンドを 取り付ける



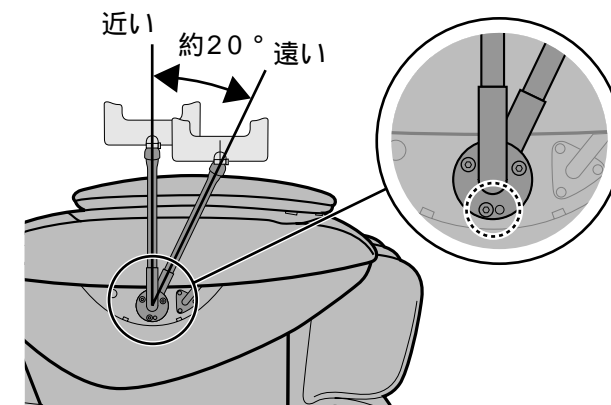
使用するネジ

取付ネジ (M6×16)



図は右側のひじ掛けに取り付けた場合です。

下の穴を先に手で軽くネジ止めする
ネジ止めする穴によって、
座ったときの操作器の位置を選べます。

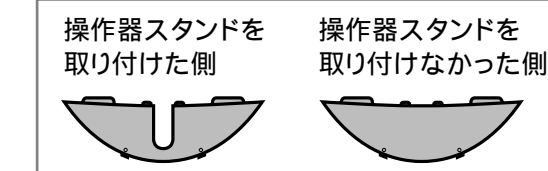
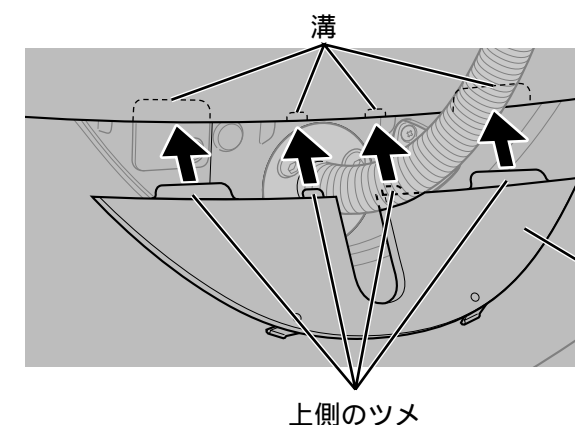


取付ネジで固定する

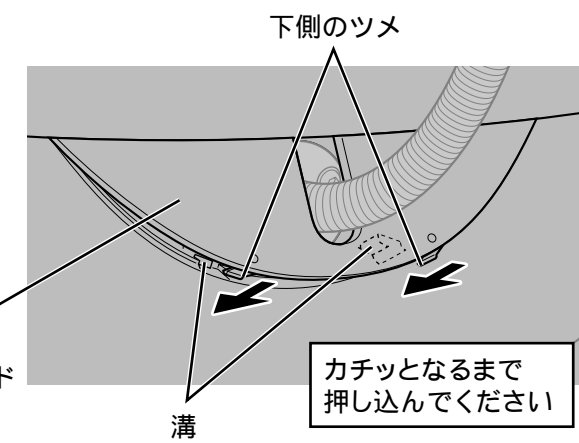
残りの2か所を手で軽く締めたあと、
六角レンチで増し締めしてください。

4 操作器スタンド 取付部カバーを取り付ける (左右両方)

ひじ掛け下側の溝にカバーの
上側のツメをはめ込む



カバーの下側のツメをはめ込む



どちら側も取り付け方は同じです。
図は操作器スタンドを取り付けた側です。

前ページからの続き

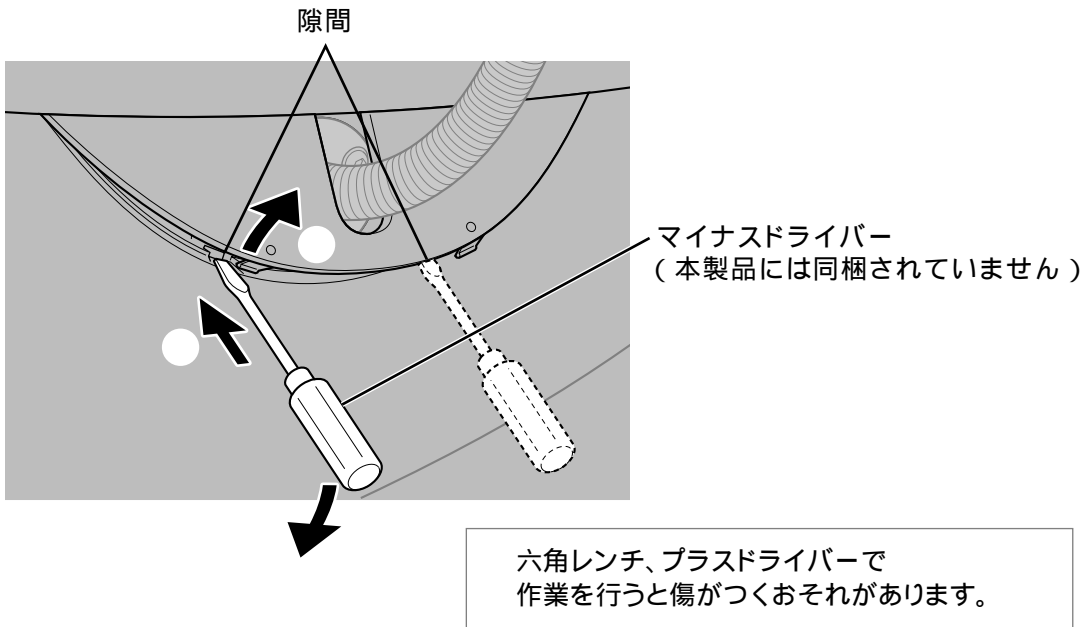
▶ 操作器スタンド
取付部カバーを取りはずす場合

目印()の
下の隙間に
マイナスドライバーを
差し込む

カバー下側のツメを
押し上げて
カバーを少しうかす

もう一方の隙間も
と同様にする

カバーを
斜めに
引き下げる



5 アースを取り付ける



注意

- 安全のためにアースを確実に取り付ける。
守らないと故障や漏電のときに感電のおそれがあります。

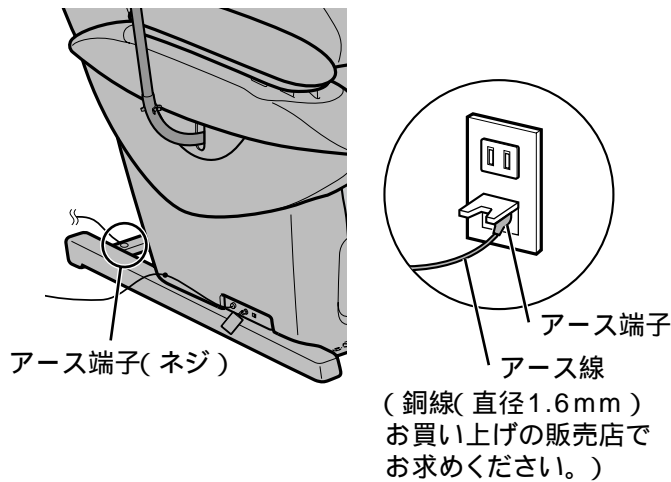
アース線を、本体のアース端子(ネジ)と
電源コンセントのアース端子に取り付けてください。
(アース線は付属していません)

電源コンセントにアース端子がない場合

お買い上げの販売店、電気工事店に相談し、アース工事(D種<第三種>接地工事)をしてください。
(アース工事費は本製品の価格には含まれておりません)

取付けてはいけないところ

ガス管.....爆発や引火のおそれがあります。
電話線や避雷針...落雷の時、感電や発火のおそれがあります。
水道管.....途中がプラスチックの場合はアースになりません。



6 背もたれをおこす

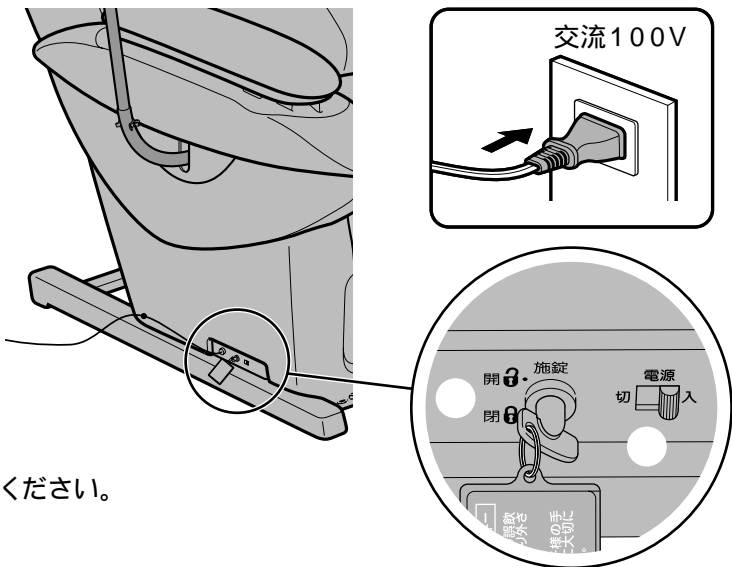
電源プラグを差し込む
(交流100Vのコンセント)

施錠スイッチが「開」に
なっていることを確認する

電源スイッチが「入」に
なっていることを確認する

操作器の 切/入 を2回押す

一度押した後、約1秒後にもう一度押してください。
自動でリクライニングがもどります。



左手側に操作器スタンドを取り付けた場合は
操作器コードを左手側に通す

操作器の 切/入 を押して、電源を入れる

操作器の 脚のみ を押し続け、脚のせ台を
一番上まで上げる

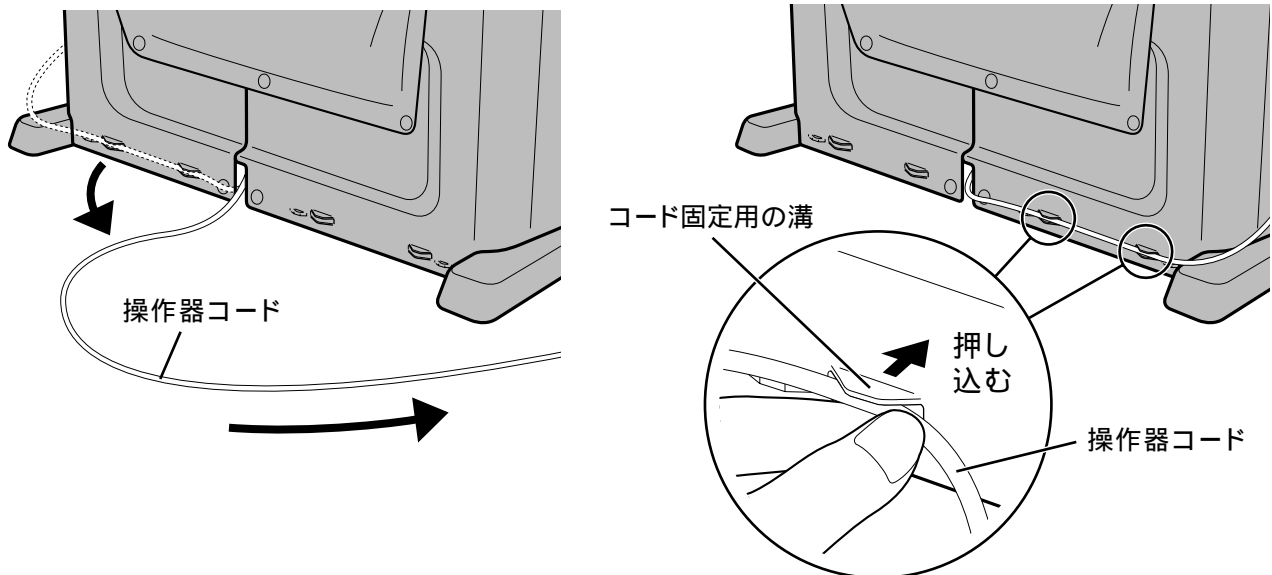
ビビビッという音が鳴るまで押し続けてください。

操作器コードを固定用の溝からはずす

操作器コードを脚のせ台の下から
左手側に通す

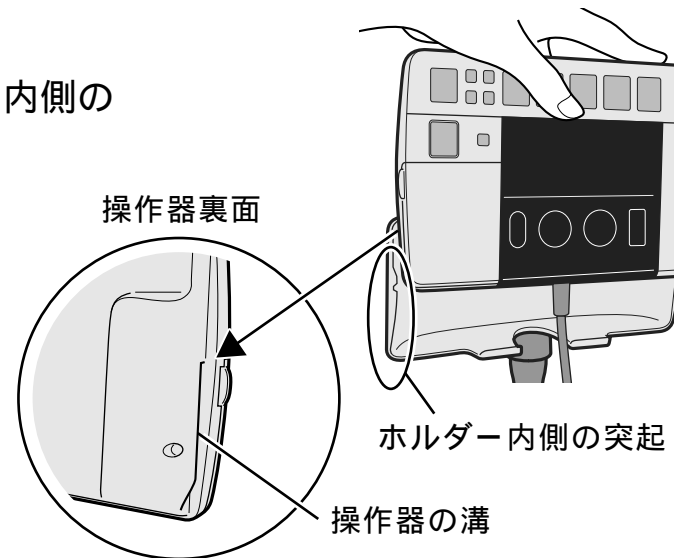
操作器コードを
固定用の溝2か所に固定する

固定しにくいときは、はしからなぞるように押し込んでください。

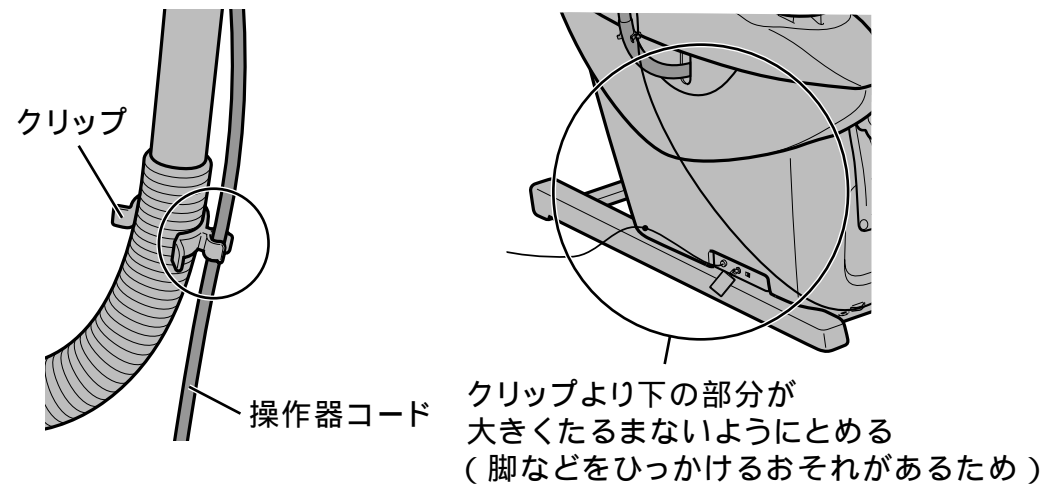


7 操作器を置く

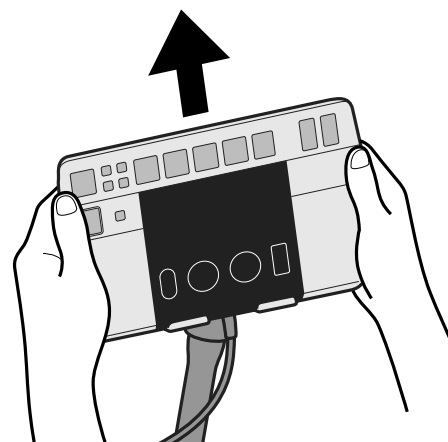
操作器側面の溝をホルダー内側の突起にはめる



操作器コードをクリップにとめる

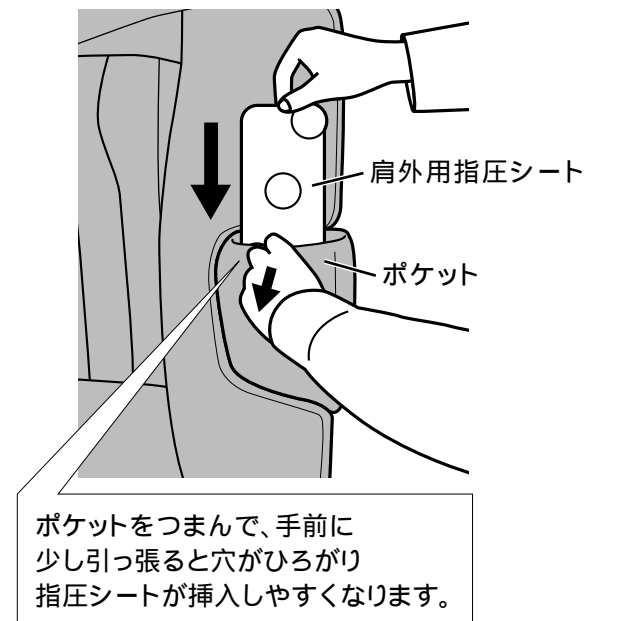
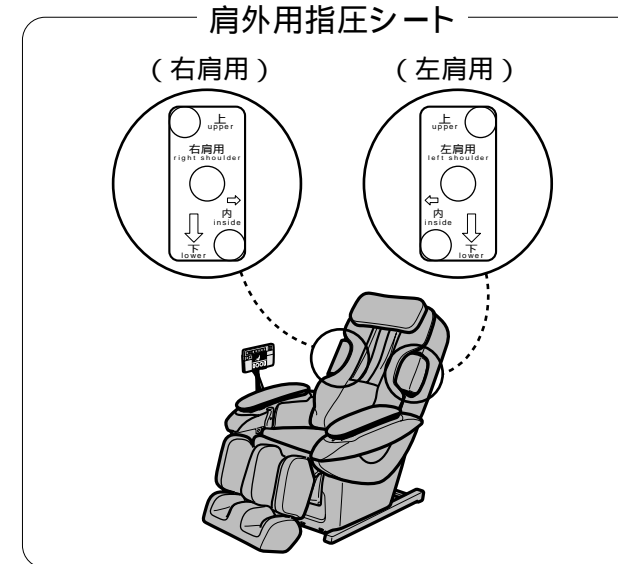


操作器を取りはずす場合は上に引き上げる



8 肩外用指圧シートを挿入する

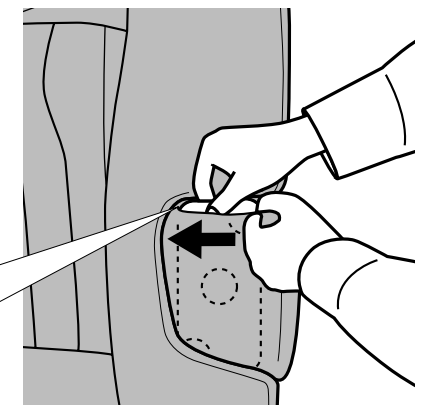
肩外マッサージユニットのポケットに指圧シートを挿入する



挿入した肩外用指圧シートを内側(おすすめ位置)にずらす

指圧シートの位置は上下・内外に調節できます。おすすめの位置は指圧シートを一番奥まで挿入して一番内側によせた位置です。

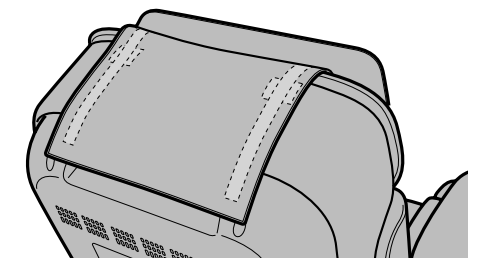
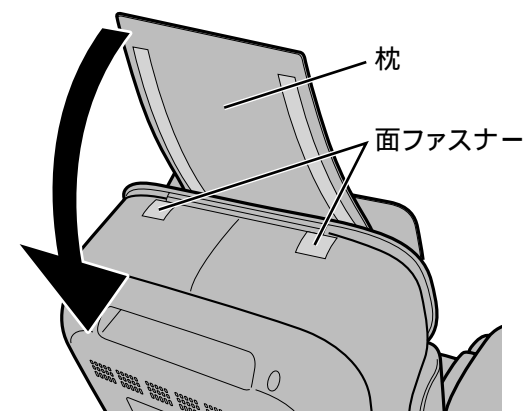
片手でポケット入り口をつまみながら反対の手で指圧シートをつかみ、一番内側までよせる。



9 枕を取り付ける

面ファスナーに枕を取り付ける

枕の位置の目安はP.46参照。



毎回マッサージをはじめる前に

座る前に確認する

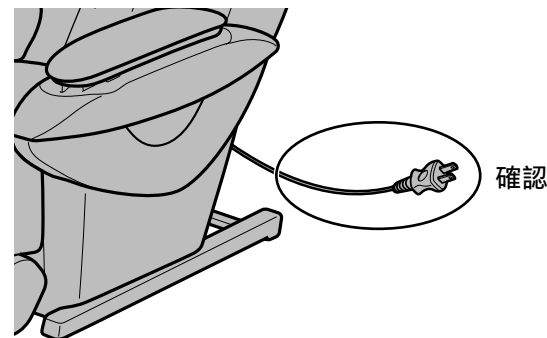
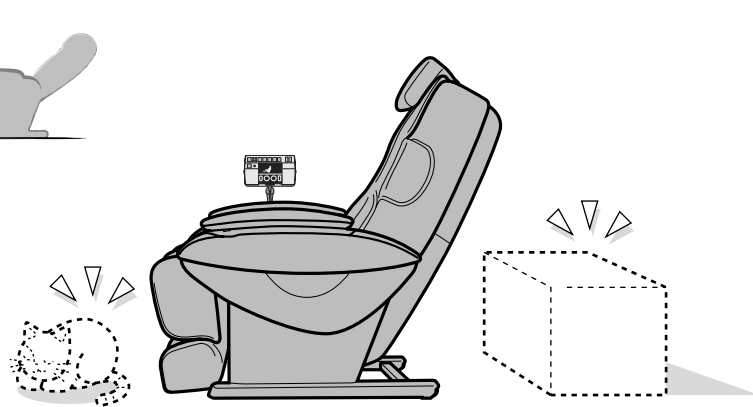
1 周囲を確認する

周囲に人やペットがいないか、物を置いていないか確認する

2 電源コードや電源プラグを確認する

警告

- 電源プラグのほこり等は定期的にとる。守らないと、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。ほこりは乾いた布でふいてください。
- 電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない。(傷つけたり、加工したり、熱機器に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物をのせたり、束ねたりしない。)傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。電源コードや電源プラグの修理は販売店または「修理ご相談窓口」にご相談ください。



3 本体の電源を入れる

電源プラグを差し込む

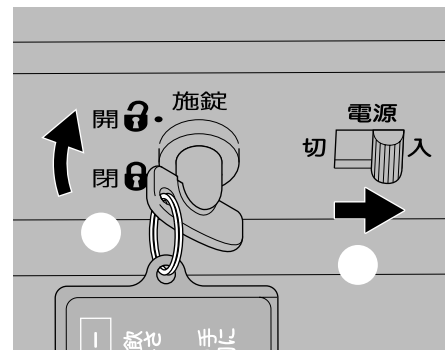
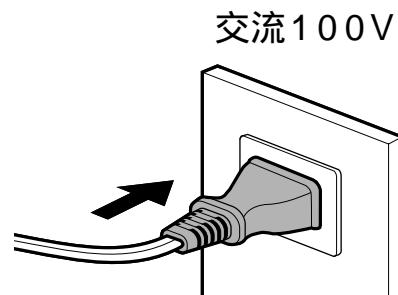
施錠キーを使って
施錠スイッチを「開」にする

電源スイッチを「入」にする

- お買い上げ時は施錠スイッチは「開」、電源スイッチは「入」になっています。

警告

- 電源プラグは根元まで確実に差し込む。守らないと感電や発熱による火災の原因になります。
- コンセントや配線器具の定格を超える使い方や交流100V以外での使用はしない。(海外での使用や変圧器を用いた使用はできません。)感電・故障や発熱による火災の原因になります。
- ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない。感電の原因になります。



4 本体を確認する

布地に破れがないか確認する

警告

- 使用前には、必ず背クッションを上げて、本体の布地が破れていないか確認する。(どんなに小さな破れでも、直ちに使用を中止し、電源プラグを抜き、修理を依頼してください。)布地が破れた状態で使用するとけがや感電のおそれがあります。

本体に異物がはさまっていないか確認する

注意

- 本体に異物がはさまっていないか確認してから座る。(背もたれ、脚・足裏マッサージ部、手・腕マッサージ部、おしり・ふともも横マッサージ部、肩外マッサージ部に異物がはさまっていないか確認する。)守らないと事故やけがのおそれがあります。

もみ玉が収納位置にあることを確認する

注意

- もみ玉が収納位置にあることを確認してから座る。守らないと事故やけがのおそれがあります。

もみ玉が収納位置にない場合

切/入 を2回押すと収納位置に戻ります。

一度押した後、約1秒後にもう一度押してください。

脚のせ台が完全に下がった状態にあることを確認する

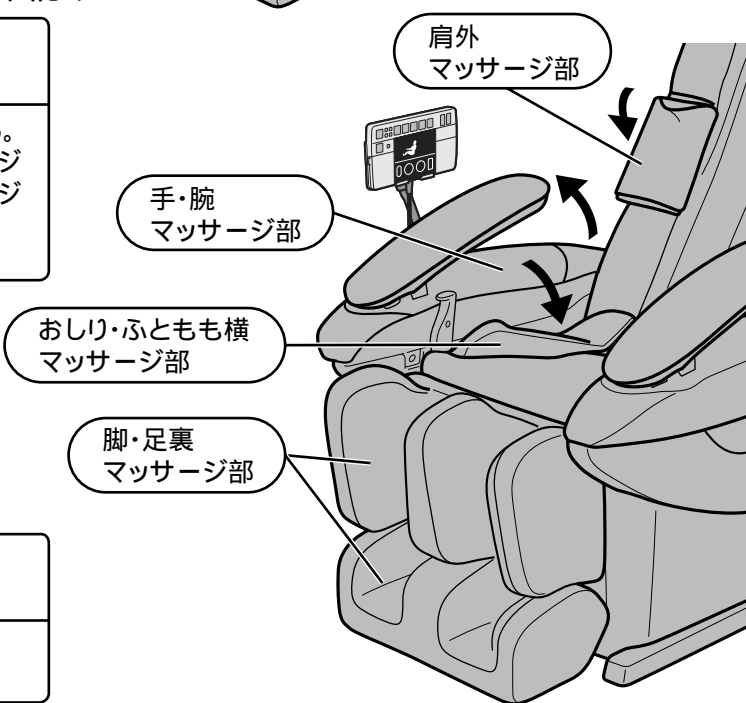
注意

- 脚のせ台が完全に下がっていないときに、脚のせ台の上ののったり、立ったり、物をのせたりしない。本体が転倒したり、脚のせ台の足先部が回転したりすることによる事故やけがのおそれがあります。

脚のせ台を下げるには

脚スライドレバーを引いて、必ず脚のせ台のスライドが完全に戻った状態であることを確認してから

切/入 を2回押してください。



簡単な使い方

このページでは、簡単な使い方を説明しています。
詳しい使い方については、参照ページをお読みください。

初級

全身を自動でマッサージしたい

全身自動コース・クイック5分コース

詳しい使い方はP.24～27へ

① 電源を入れる

② コースを1つ選ぶ



中級

「肩だけ」など、疲れた場所だけマッサージしたい 体の場所ごとのお疲れ度合いに合わせてマッサージしたい

問診コース

詳しい使い方はP.28～30へ

① 電源を入れる



② 問診設定をする

問診コースを押す

マッサージしたい場所の
ボタンを押して
お疲れ度合いを設定する

決定を押して、
動作を
開始する



ボタンを押すたびに疲れ度合いの段階が変わります。

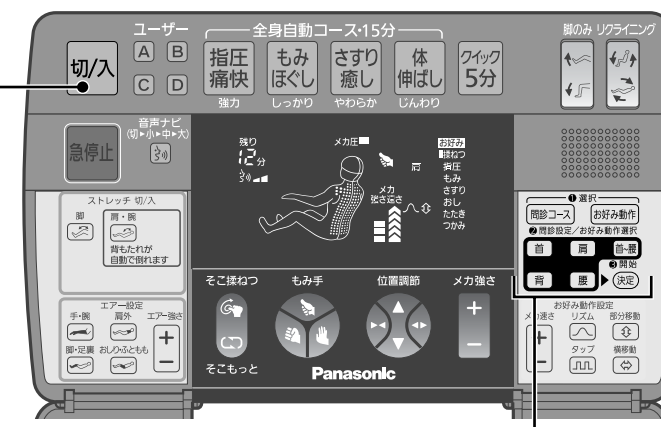
中級

「首をもみたい」「肩をたたきたい」など好みの場所を 好みの動作で集中してマッサージしたい

好み動作

詳しい使い方はP.31～33へ

① 電源を入れる



② 動作を選択する

好み動作を押す

マッサージしたい
場所のボタンを押す

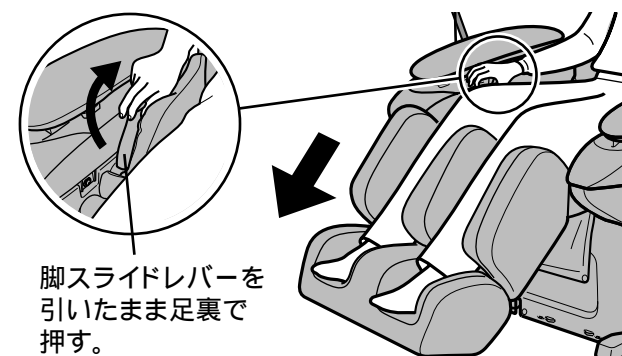
決定を押して、
動作を
開始する



ボタンを押すたびに動作が変わります。

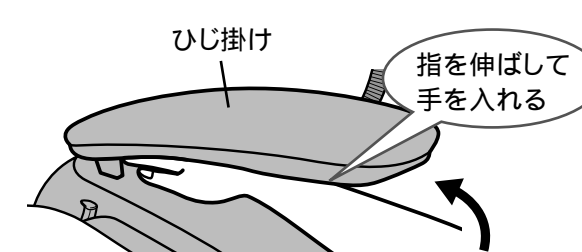
それぞれの②を選択すると マッサージがはじまります

ひざやふくらはぎがうくときは
脚のせ台の長さを調節してください。



脚スライドレバーを
引いたまま足裏で
押す。

手・腕のマッサージをするときは
ひじ掛けを上げて、手を入れてください。

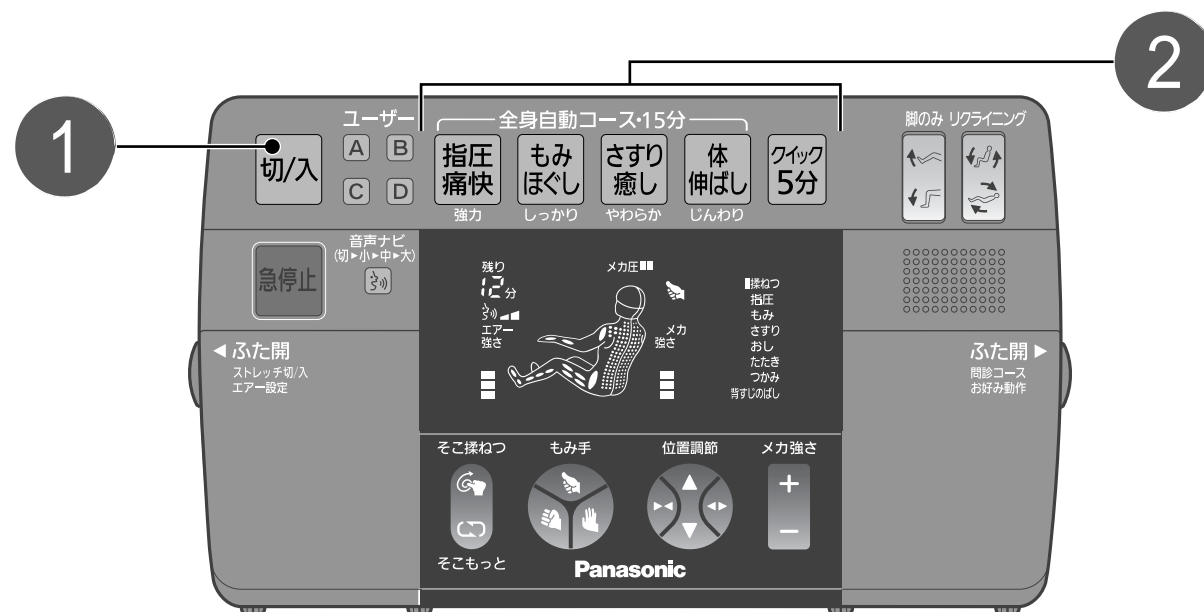


⚠ 注意

- 手・腕をマッサージするときはつけ爪・時計・指輪などの硬いものをはずす。
- おしり・ふともも横をマッサージするときはズボンのポケットから硬いものを取り出す。守らないとけがのおそれがあります。

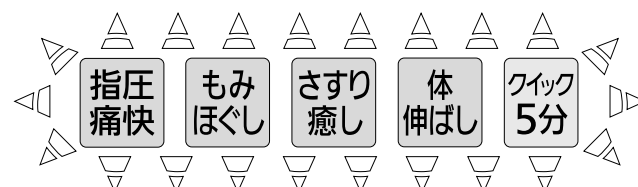
全身を自動でマッサージしたい

全身自動コース クイック5分コース



1 切/入 を押して、電源を入れる

点滅をはじめます



(電源を入れてから3分以内にマッサージを開始しないと、自動で電源が切れます。)

2 指圧痛快 もみほぐし さすり癒し 体伸ばし クイック5分 から1つ選んで押す

全身自動コース・クイック5分コースの特徴(上半身)

指圧痛快

指圧を中心に、コリの芯までしっかりほぐします。コリがひどいときにおすすめです。

もみほぐし

もみを中心に、筋肉を丹念にほぐします。少しコリを感じる時におすすめです。

さすり癒し

さすりを中心に、血行を促進し、疲れた体をやさしく癒します。疲労感のあるときにおすすめです。

体伸ばし

おしを中心に身体をじんわりと伸ばします。体を伸ばしてすっきりしたいときにおすすめです。

クイック5分

5分間でいろいろな動作のマッサージを行います。短い時間で全身をマッサージしたいときにおすすめです。

コースのおおまかな内容はP.27参照。

1 体型センシングがはじまります

正しく体型センシングできる身長目安は約140cm～約185cmの範囲です。

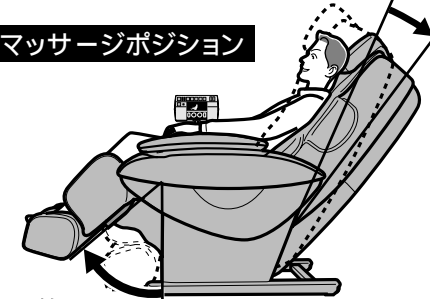
深く腰かけ、頭を枕につけて
ゆったりもたれてください



枕の下端が耳の位置にくるように枕の高さを調節してください。
P.46参照

自動的にマッサージポジションになります
約12°倒れる

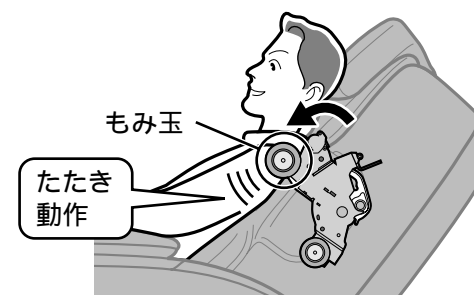
マッサージポジション



約55°
上がる

マッサージポジションより深く倒れている場合は、自動リクライニングしません。

1 体型センシングを開始してから約30秒後にもみ玉が肩位置までゆっくり下がり、たたき動作がはじまります



たたき動作が始まるまで頭を枕から離さないでください。肩位置を正確に検出できなくなります。

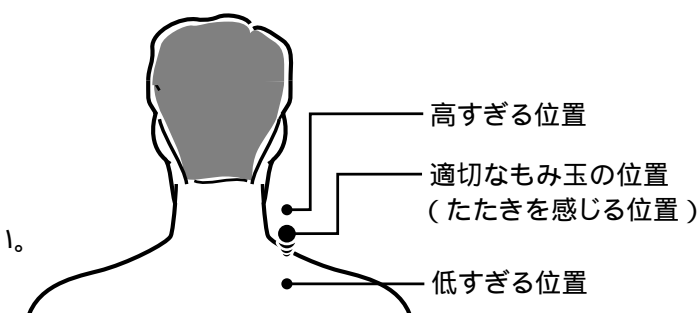
1 たたき動作をしている位置で肩位置が合っているか確認してください

肩位置が合っていないときはたたき動作中(約15秒間)に、位置調節ボタンで肩の高さを調節してください。

位置調節



1回押すごとに約1.2cm上下します。



全身を自動でマッサージしたい(続き)

全身自動コース クイック5分コース

体型センシングが終わると
マッサージがはじまります

肩位置をもとにおおよその身長を推定し、脚のせ台の角度を足裏がつくように自動で調節する場合があります。



マッサージを行っているときに...

「脚・足裏」「おしり・ふともも」
「手・腕」「肩外」の切/入を変更したり、
強さを調節したい。
P.37参照

ストレッチマッサージの
切/入をしたい。
P.41参照



もみ玉による上半身の
マッサージの強さや
位置を調節したい。
P.34・35参照

リクライニング角度を
調節したい。
P.43参照

「そこ揉ねつ」や「そこもっと」機能を
使ったり、もみ手を変更したい。
P.34参照

マッサージを終了したい。
P.51・52参照

脚のせ台を調節したい。
P.43・44参照

全身自動コース・クイック5分コースの内容について(上半身)

指圧痛快コース

- | | | | | | | |
|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|-------|
| 1 首・肩の
揉ねつ、指圧 | 2 背・腰の
揉ねつ、指圧 | 3 首・肩の
揉ねつ、指圧 | 4 背・腰の
揉ねつ、指圧 | 5 首・肩の
揉ねつ、指圧 | 6 背・腰の
揉ねつ、もみ | 7 仕上げ |
| | | | | | | |

もみほぐしコース

- | | | | | | | | |
|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|----------------|----------------|-------|
| 1 首・肩の
揉ねつ、もみ | 2 背・腰の
揉ねつ、もみ | 3 首・肩の
揉ねつ、もみ | 4 背・腰の
揉ねつ、もみ | 5 首・肩の
揉ねつ、もみ | 6 腰の
揉ねつ、もみ | 7 肩の
揉ねつ、もみ | 8 仕上げ |
| | | | | | | | |

さすり癒しコース

- | | | | | | | |
|-------------------|---------------|-------------------|---------------|-------------------|---------------|-------|
| 1 首・腰の
揉ねつ、さすり | 2 首・肩の
さすり | 3 背・腰の
揉ねつ、さすり | 4 首・肩の
さすり | 5 背・腰の
揉ねつ、さすり | 6 首・腰の
さすり | 7 仕上げ |
| | | | | | | |

体伸ばしコース

- | | | | | | | | |
|--------------|--------------|---------------|------------------|------------------|----------|-------------------|-------|
| 1 首・腰の
もみ | 2 背すじの
おし | 3 首・腰の
揉ねつ | 4 背すじの
おし、のばし | 5 背・腰の
揉ねつ、おし | 6 背すじのばし | 7 背・腰の
さすり、のばし | 8 仕上げ |
| | | | | | | | |

クイック5分コース

- | | | |
|------------------|------------------|-------|
| 1 首・肩の
揉ねつ、指圧 | 2 背・腰の
揉ねつ、もみ | 3 仕上げ |
| | | |

「肩だけ」など疲れた場所だけマッサージしたい 体の場所ごとのお疲れ度合いに合わせてマッサージしたい

問診コース

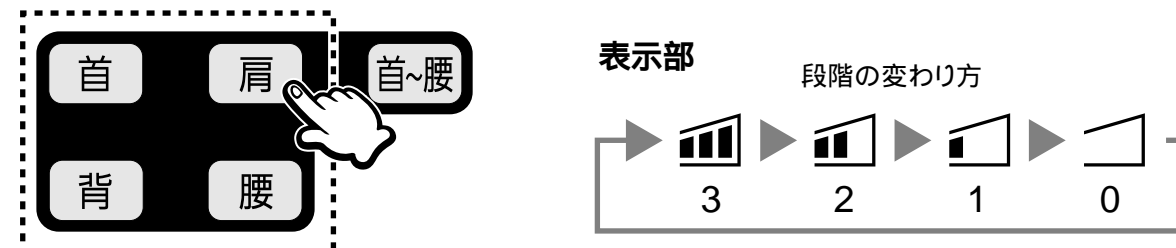
問診コースとは...

首・肩・背・腰それぞれのお疲れ度合いを0～3に設定するだけで、そのお疲れ度合いに合わせてマッサージを行う機能です。



3 首・肩・背・腰それぞれのお疲れ度合いを設定する

ボタンを押すたびにお疲れ度合いの段階が変わります。



首～腰 を押すと「首」、「肩」、「背」、「腰」が
全て1段階ずつ変わります

4 決定 を押して、コースを開始する

体型センシングに続き、マッサージがはじまります

マッサージの途中でお疲れ度合いを変えるときは
手順 ③ ④ で再度設定してください

③ で再設定してから、約30秒以内に 決定 を押さないと、
再設定した内容を自動で取り消します

お疲れ度合いの設定

問診コースでは、お疲れ度合いの情報に基づいて、
体の場所ごとの動作内容や時間を設定しています。
(お疲れ度合いはマッサージの強さの設定ではありません。)

マッサージの順番

お疲れ度合いの多い順番にマッサージします。
お疲れ度合いが同じ場合は、
「首」「肩」「背」「腰」の順番に
マッサージします。

お疲れ度合いごとのマッサージの内容

- 指圧を中心に、
強めのマッサージ
- もみを中心に、
中程度の強さのマッサージ
- さすりを中心に、
弱めのマッサージ
- その場所はマッサージしません。

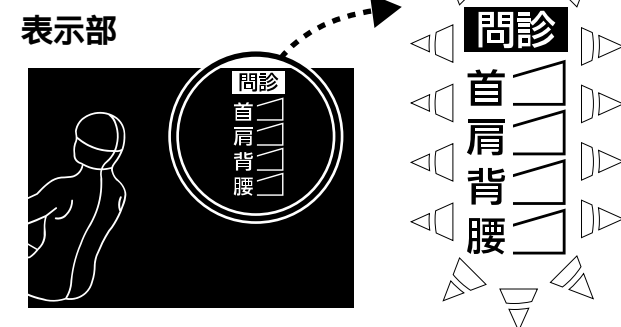
1 切/入 を押して、電源を入れる

(マッサージをしていない状態で3分以上操作しないと、自動で電源が切れます。)

2 右側のふたを開いて

問診コース を押す

表示部右上の問診設定表示が
点滅をはじめます



「肩だけ」など疲れた場所だけマッサージしたい 体の場所ごとのお疲れ度合いに合わせてマッサージしたい(続き)

問診コース

マッサージを行っているときに...

「脚・足裏」「おしり・ふともも」
「手・腕」「肩外」の切/入を変更したり、
強さを調節したい。

P.37参照

ストレッチマッサージの
切/入をしたい。

P.41参照



もみ玉による上半身の
マッサージの強さや
位置を調節したい。

P.34・35参照

リクライニング角度を
調節したい。

P.43参照

「そこ揉ねつ」や「そこもっと」機能を
使ったり、もみ手を変更したい。

P.34参照

マッサージを終了したい。

P.51・52参照

脚のせ台を調節したい。

P.43・44参照

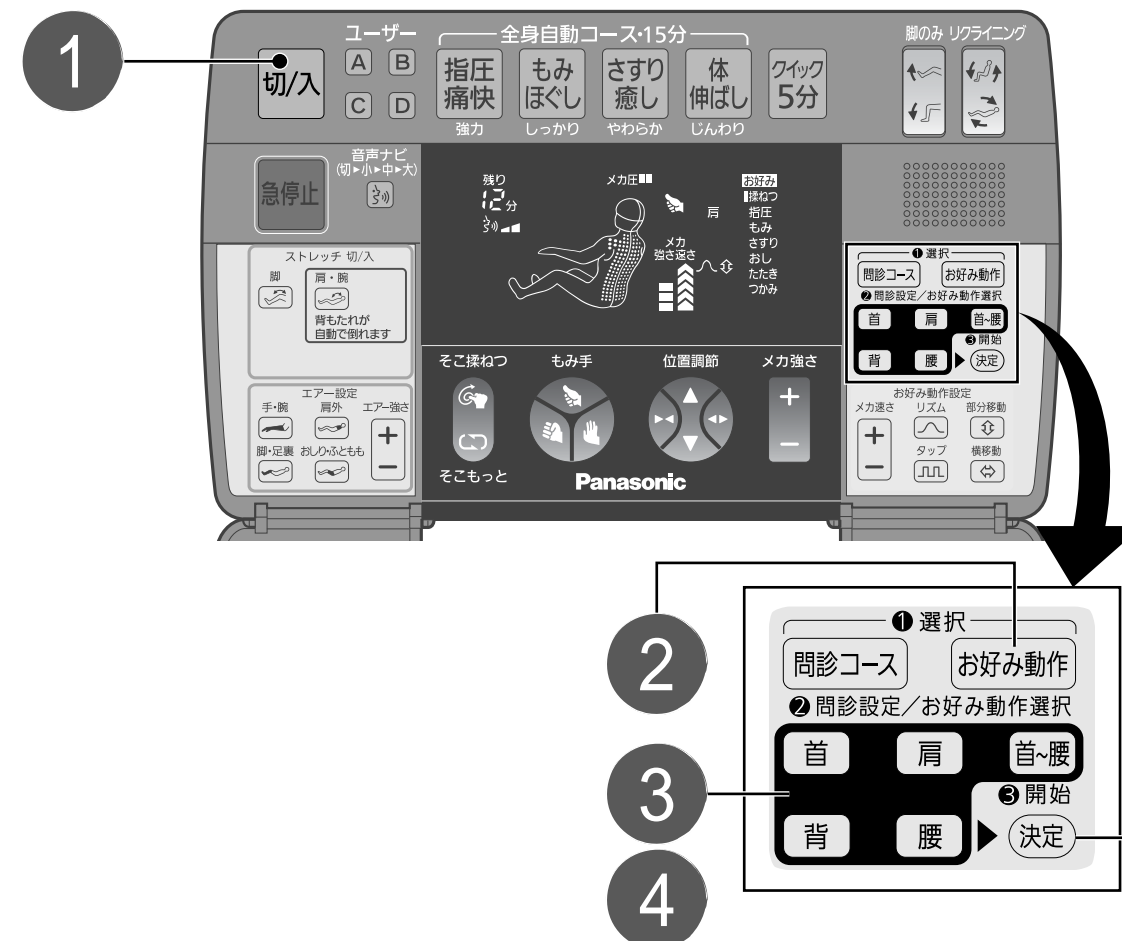
使い方

「首をもみたい」「肩をたたきたい」など好みの場所を 好みの動作で集中してマッサージしたい

好み動作

好み動作とは...

首・肩・背・腰の中からマッサージしたい場所と動作を選択することで、
好みの場所をお好みの動作でマッサージすることができます。



1

切/入 を押して、電源を入れる

(マッサージをしていない状態で3分以上操作しないと、自動で電源が切れます。)

2

右側のふたを開いて

好み動作 を押す

表示部右上の“首・肩・背・腰”が
点滅をはじめます

表示部



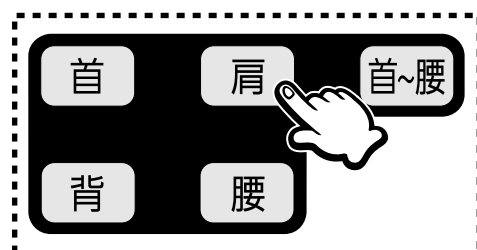
首
肩
背
腰

使い方

「首をもみたい」「肩をたたきたい」など好みの場所をお好みの動作で集中してマッサージしたい(続き)

好み動作

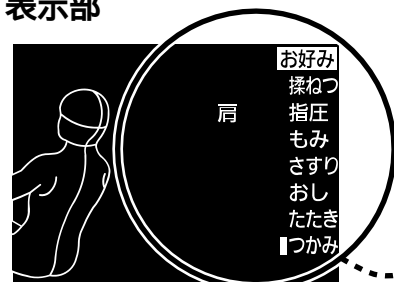
3 マッサージしたい場所を選択する



首~腰 を押すと背すじのばしを
組み合わせた動作が選べます

選択できる動作の一覧が
表示されます

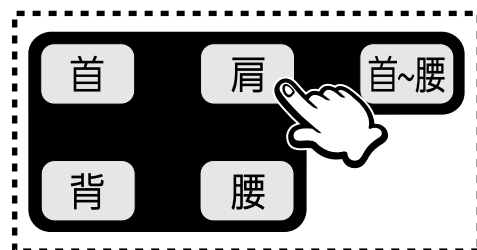
表示部



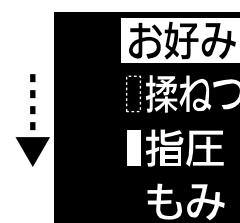
好み

揉ねつ
指圧
もみ
さすり
おし
たたき
つかみ

4 お好みの動作を選択する



ボタンを押すたびに動作が変わります



5 決定 を押して、動作を開始する

体型センシングに続き、マッサージがはじまります

好み動作のセンシングについて

首・肩... 通常の体型センシングを
行います P.55参照

背・腰... 簡易的なセンシングを
行います(肩まで上がりません)

途中で動作を変えるときは
手順 ③ ~ ⑤ で再度選択してください

③ で再選択してから、約30秒以内に 決定 を押さないと、
再選択した内容を自動で取り消します

付加動作を複合したいとき



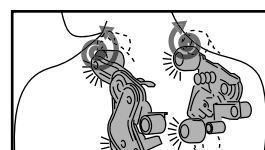
を押す

左記の動作だけを単独で選択することはできません。
つかみに付け加えることはできません。

好み動作の内容について (イラストは動作のイメージ図です)

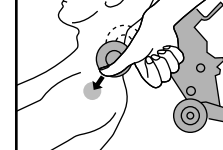
揉ねつ

ポイントで小さく
こねるような動作



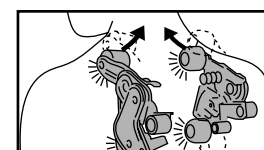
指圧

コリポイントを
垂直に圧迫する動作



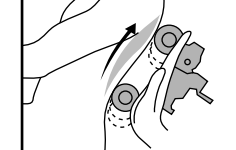
もみ

グイッともみこむ動作



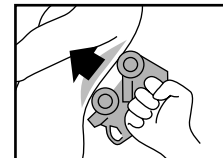
さすり

広くやさしく
なでるような動作



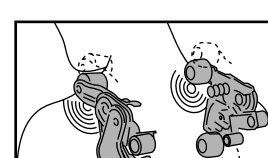
おし

じんわりと
押し伸ばす動作



たたき

左右交互に
トントンとたたく動作



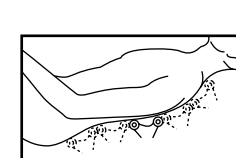
つかみ

肩をはさみこむような動作



背すじのばし

背すじにそって
体を伸ばす動作



それぞれの動作は選んだ場所に合わせた動き方をします。
たとえば、「首」の指圧と、「肩」の指圧は異なる動作です。

付加動作について

上記の動作に付け加えて、変化をつけた動作にすることもできます。



徐々に速くなり、徐々に遅くなるたたきを
付け加えます。



緩急が交互に切り替わるたたきを
付け加えます。



上下に部分的な移動をする
動きを付け加えます。



左右に移動する動きを
付け加えます。

マッサージを行っているときに...

「脚・足裏」「おしり・ふともも」
「手・腕」「肩外」の切/入を変更したり、
強さを調節したい。

P.37参照

ストレッチマッサージの
切/入をしたい。

P.41参照

脚のせ台を
調節したい。

P.43・44参照

もみ玉による上半身の
マッサージの強さや
位置や速さを調節したい。

P.34・35参照

リクライニング角度を
調節したい。

P.43参照

もみ手を変更したい。

P.34参照

マッサージを終了したい。

P.51・52参照



メカ(もみ玉による上半身のマッサージ)を調節したい

そこ揉ねつ そこもっと もみ手 位置調節 メカ強さ メカ速さ



速さを調節したい

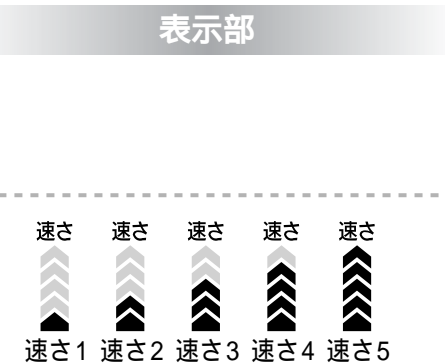
メカ速さ
+
-

全身自動コース、クイック5分コース、問診コースのとき

調節することはできません。

お好み動作のとき

調節範囲は5段階です。



強さを調節したい

メカ強さ
+
-

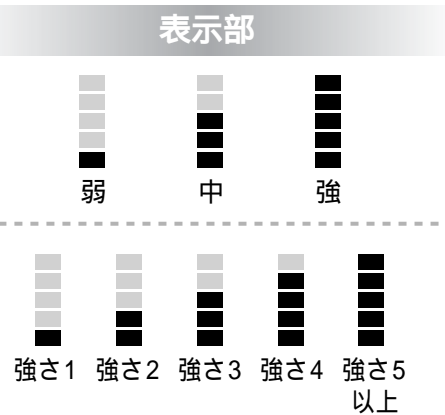
全身自動コース、クイック5分コース、問診コースのとき

調節範囲は3段階です。

お好み動作のとき

ピピピという限界音が鳴るまで調節できます。
調節範囲は動作や場所によって異なります。
P.36参照

1つの動作の途中などに押すと強さがすぐに切り替わらない場合があります。



位置を調節したい

位置調節

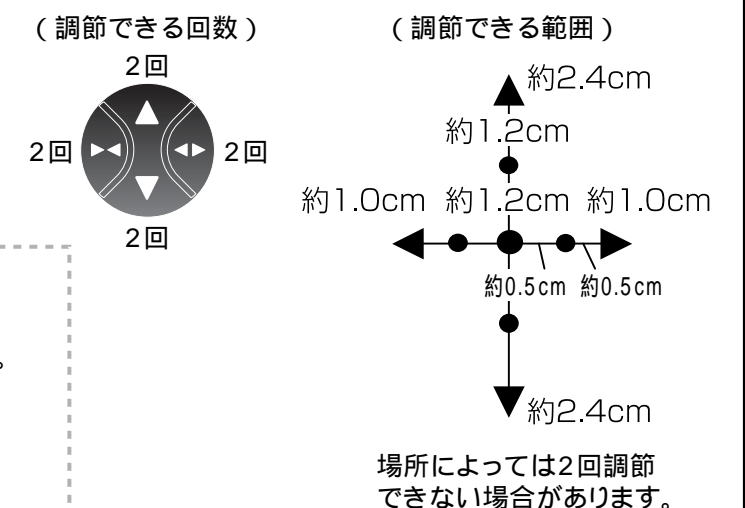
全身自動コース、クイック5分コース、問診コースのとき

マッサージしている位置を微調節することができます。

お好み動作のとき

ピピピという限界音が鳴るまで調節できます。
調節範囲は動作によって異なります。
P.36参照
上下方向はボタンを押したままにすると、離すまで移動し続けます。

1つの動作の途中などに押すと位置がすぐに切り替わらない場合があります。



そこ揉ねつ を押して、コース内容を変更する

そこもっと

そこ揉ねつ

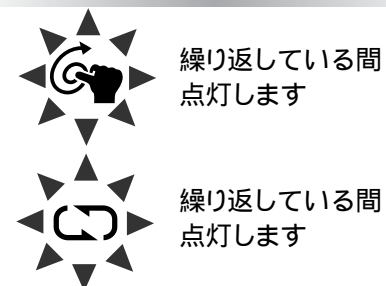
押すとその場で揉ねつ動作を一定時間繰り返します。
揉ねつ動作の内容はP.33参照

そこもっと

押したときの動作を繰り返します。
コース中の同じ場所での同じ動作も繰り返します。

全身自動コース、クイック5分コース、問診コースのときのみ

表示部



もみ手 を押して、「もみ手」を変更する 「もみ手」の内容についてはP.36参照

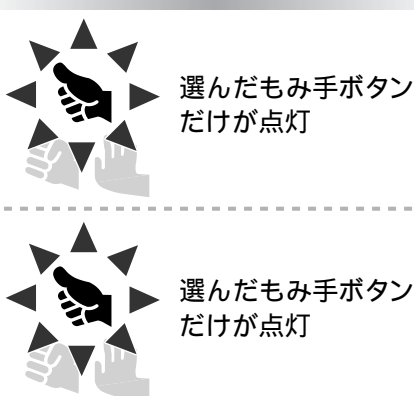
全身自動コース、クイック5分コース、問診コースのとき

選んだもみ手だけでマッサージすることができます。
(もみ手ボタンを選ばなければ、自動でもみ手を切り替えながらマッサージします。)
再度同じもみ手ボタンを押すと、キャンセルできます。

お好み動作のとき

選んだもみ手でマッサージすることができます。
(はじめは動作ごとに決められたもみ手になっています。)
つかみのときはもみ手を選ぶことはできません。

表示部

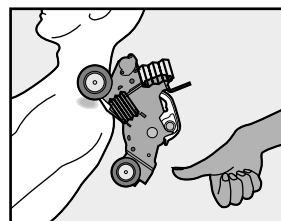


メカ(もみ玉による上半身のマッサージ)を調節したい(続き)

そこ揉ねつ そこもつと もみ手 位置調節 メカ強さ メカ速さ

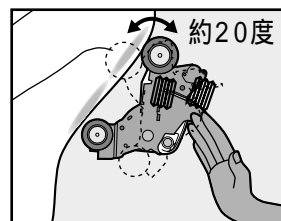
もみ手の内容について

親指感覚



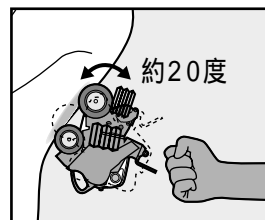
上のもみ玉が、親指のように、ポイントでしっかり体にあたるように、動きを固定した状態。

手のひら感覚



上下のもみ玉が、手のひらのように、広くやさしく体にあたるように、体に沿って約20度自由に動く状態。

こぶし感覚



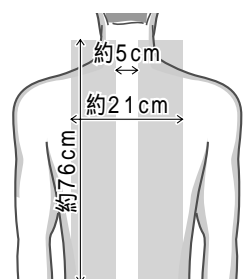
上下のもみ玉が、こぶしのよう、面でやわらかく体にあたるように、上下のもみ玉の距離が縮まり、体に沿って約20度自由に動く状態。

調節範囲について

強さの調節について

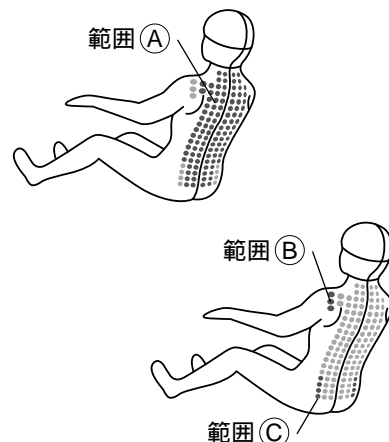
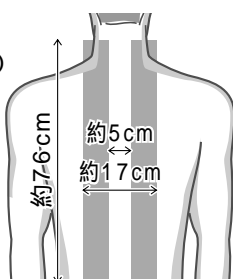
上半身のマッサージは、安全のためもみ玉の最大突出量を制限しており、強さは動作や場所によって調節できる量が異なります。右図の範囲(B)(C)では範囲(A)よりも強く調節ができます。「ピピピッ」と鳴るまで調節できます。

上半身のマッサージできる範囲



背すじのばしの場合

(背すじのばしを組み合わせた動作も含む)



「脚・足裏」「おしり・ふともも」「手・腕」「肩外」をマッサージしたい エアーマッサージ



全身自動コース、クイック5分コースを選んだときは、エアーマッサージはすべて「入」の状態になっています。問診コースやお好み動作を選んだときは、エアーマッサージはすべて「切」の状態になっています。

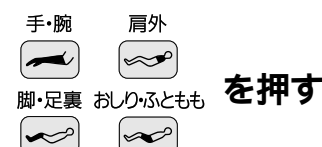


1 左側のふたを開く

2 を押して、切/入を変更する

エアーマッサージだけをしたいときは

切/入を押して、電源を入れたあとに



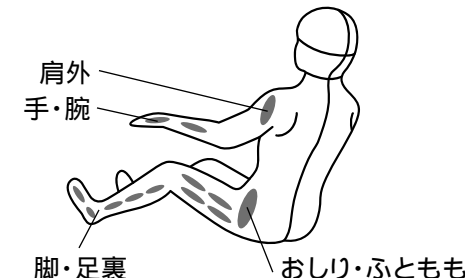
(マッサージをしていない状態で3分以上操作しないと、自動で電源が切れます。)

強さを調節したいときは

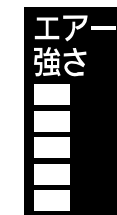
エアー強さ
+
-
を押して、強さを調節する
調節範囲は5段階です。

表示部

エアーの切/入は表示部で確認できます。(点灯時...「入」、消灯時...「切」)



エアーの強さは表示部で確認できます。



「脚・足裏」「おしり・ふともも」 「手・腕」「肩外」をマッサージしたい(続き)

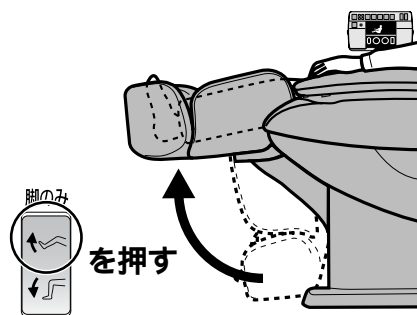
エアーマッサージ



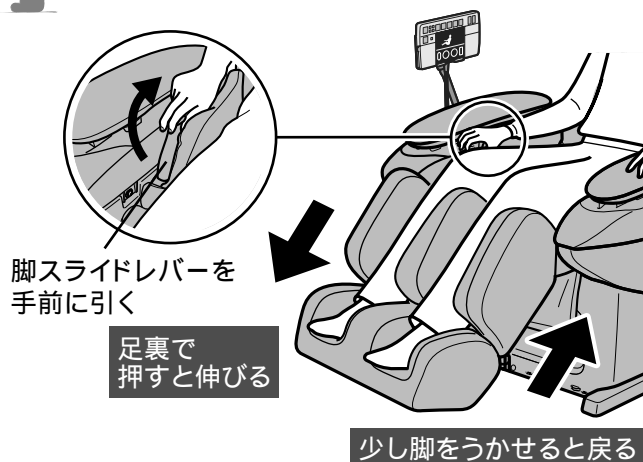
脚・足裏マッサージの上手な使い方

足裏がつくように脚のせ台を調節してください

小柄な体格の方は
脚のせ台を上げると
足裏がつきやすくなります。



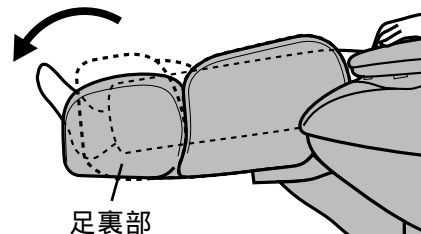
大柄な体格の方は
脚スライドを調節するとひざがうきにくくなります。



脚のせ台を下げても
ひざがうきにくく
なります。

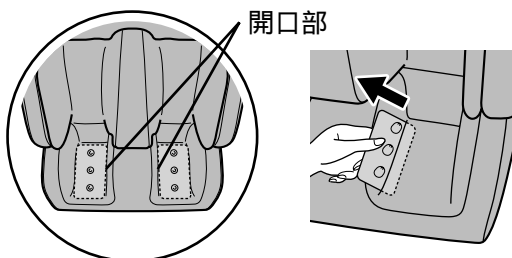


足裏部を回転させて、
脚を広くマッサージすることもできます

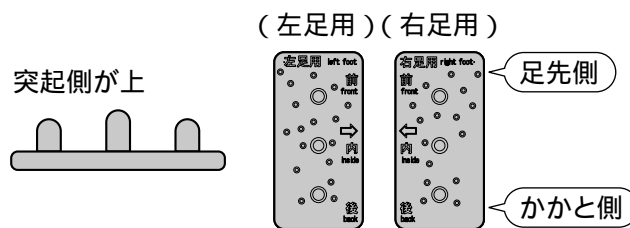


足裏指圧シートについて

足裏指圧シートは着脱することができます。



取り付けるときは
足裏指圧シートの向きと左右に注意して、
開口部から挿入してください。



手・腕マッサージの上手な使い方

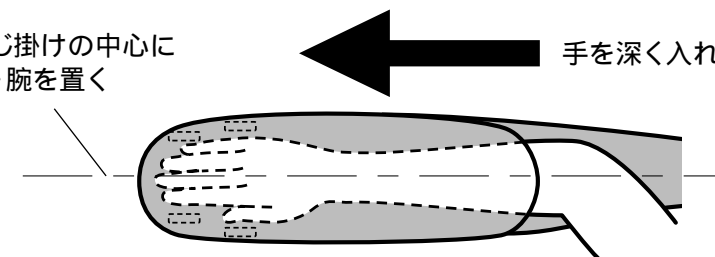
⚠ 注意

- 手・腕をマッサージするときはつけ爪・時計・指輪などの硬いものをはずす。
守らないとけがのおそれがあります。

手・腕マッサージ部の中心に
手・腕を置いてください

ひじ掛けの中心に
手・腕を置く

手を深く入れる

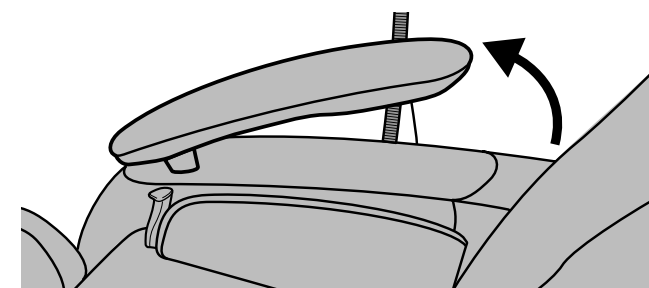


手・腕の位置を合わせにくいときは、
背もたれを起こしてください。

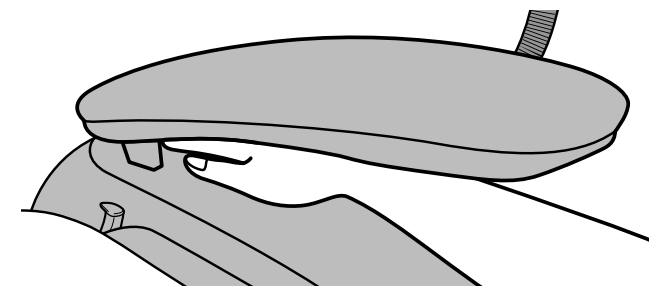


手・腕マッサージの使い方

手・腕マッサージ部を開く



指を伸ばして手を入れる



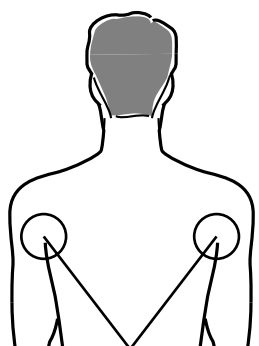
「脚・足裏」「おしり・ふともも」「手・腕」「肩外」をマッサージしたい(続き)

エアーマッサージ



肩外マッサージの上手な使い方

肩外マッサージとは図のように肩甲骨外側のコリポイントを指圧する機能です
本体背もたれ部の肩外ユニットが、エアの力で斜め前方に動き、
体をはさみこむように圧迫します



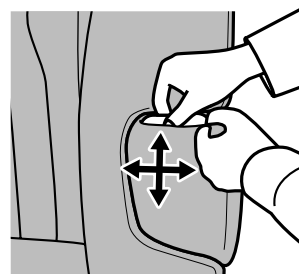
わきと肩甲骨外側の間の部分



こんなときは...

肩外マッサージのマッサージ感が
あまり感じられない。
肩外マッサージの突起が
骨に当たって痛い。

肩外用指圧シートの突起が左上図の「わきと肩甲骨外側
の間の部分」にあたるように肩外用指圧シートの位置を
調節してください。
(細身の体型の方はあた
らない場合があります)



小柄なため
肩外マッサージに届かない。

深く腰かけると届きやすくなります。
それでも届かない場合は、座面に
座布団などを敷いてください。

肩外マッサージと枕が
あたってしまう。

枕を正しい位置に調節してください。P.46参照
正しい位置に調節してもあたる場合は枕を取りはずすか、座面
に座布団などを敷いて枕が肩外マッサージ部より上にくるよう
にしてお使いください。

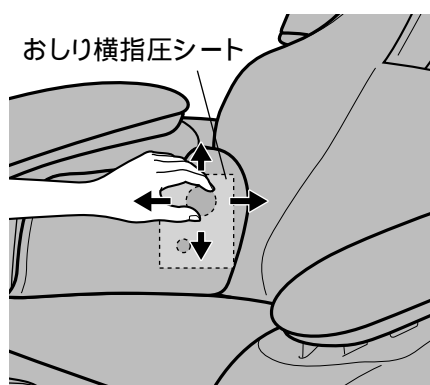
肩外用指圧シートのマッサージが
好きではない。

肩外用指圧シートをポケットから抜いてお使いください。



おしり・ふとももマッサージの上手な使い方

生地の内側に内蔵されているおしり横指圧シートを
お好みの位置に調節してください



ストレッチマッサージを使う

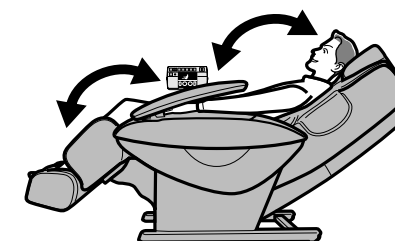
警告

- 肩・腕ストレッチ機能を「入」にするときは、必ず本体の後部に入やベットがないことを確認する。
守らないと事故やけがのおそれがあります。

注意

- 肩に痛みがある人や脱臼しやすい人は、肩・腕ストレッチを使用しない。
事故やけがのおそれがあります。

全身自動コース、クイック5分コースを選んだときは、
脚ストレッチは「入」、肩・腕ストレッチは「切」の状態になっています。
問診コースやお好み動作を選んだときは、
ストレッチマッサージはすべて「切」の状態になっています。



EP7000

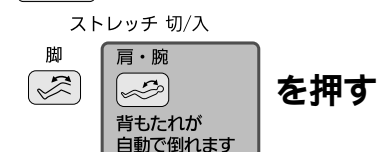
- ☒ 肩・腕ストレッチ
- ☒ 脚ストレッチ

1 左側のふたを開く

2 を押して、切/入を変更する

ストレッチマッサージだけをしたいときは

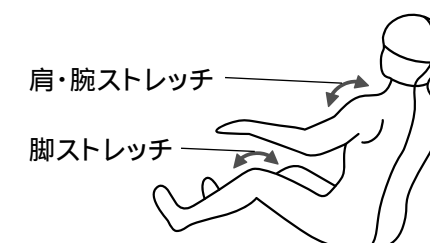
切/入 を押して、電源を入れたあとに



(マッサージをしていない状態で3分以上操作しないと、
自動で電源が切れます。)

表示部

ストレッチの切/入は表示部で確認できます。
(点灯時...「入」、消灯時...「切」)



ストレッチマッサージを使う(続き)

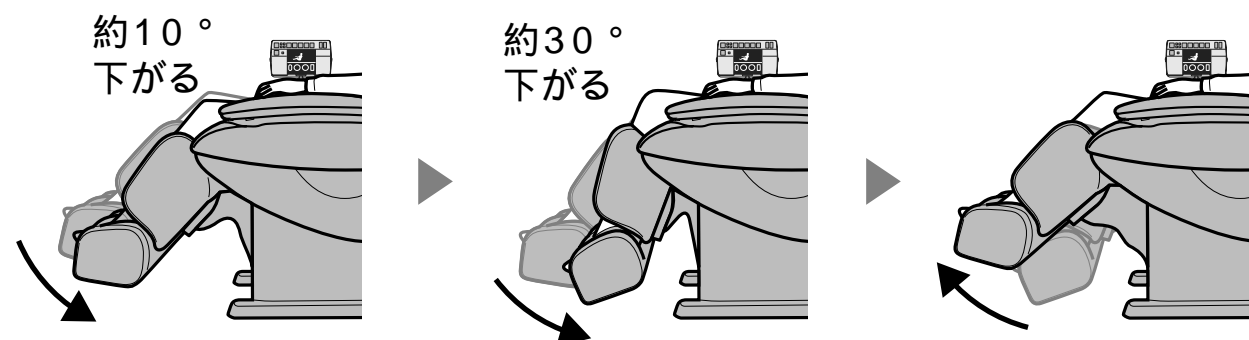


脚ストレッチの動作について

脚全体をエアでつかんだあと、
脚のせ台がマッサージポジションから
約10度下がり軽くストレッチします。

脚のせ台が元の角度に
上がったあと、
約30度下がり、さらに
ストレッチします。

動作が終わったら、
脚のせ台が、動作前の
角度に戻ります。



脚のせ台のスライドを伸ばしている場合、足裏部が床にあたる場合があります。

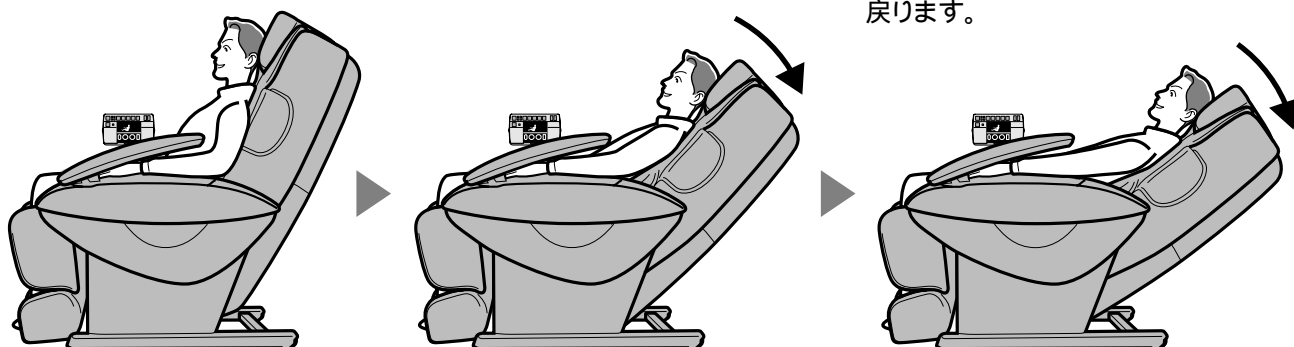


肩・腕ストレッチの動作について

背もたれが起きたあと
手・腕をエアでつかみます。

背もたれが約20度倒れ、
軽くストレッチしたあと
約5度起きます。

背もたれがさらに約10度倒れ、
肩・腕をさらにストレッチします。
動作が終わったら、動作前の角度に
戻ります。

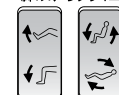


リクライニング角度や脚のせ台を調節する

リクライニング角度と脚のせ台の角度を調節する

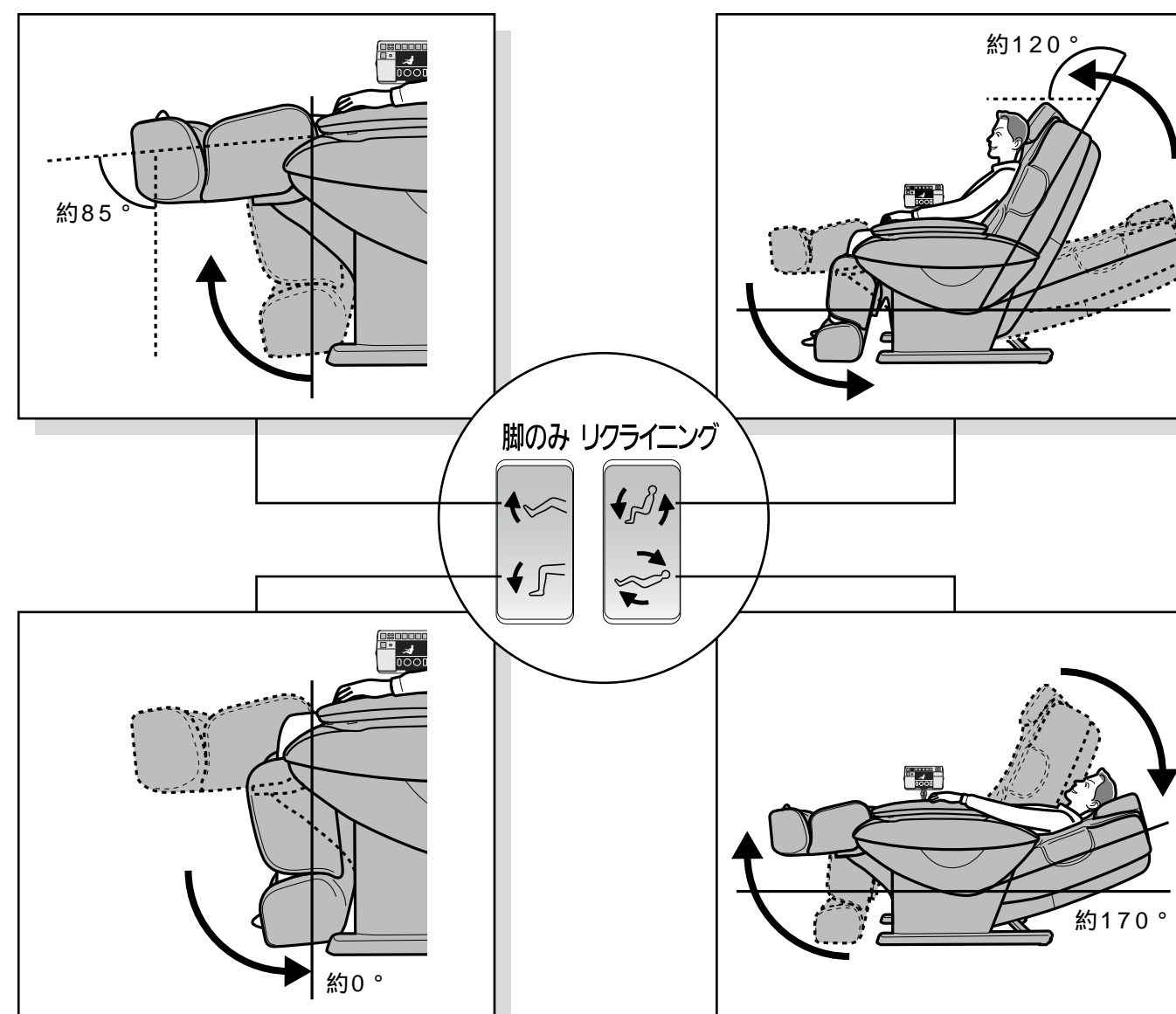
切/入 を押して、電源を入れる

脚のみ リクライニング



を押して、調節する

押している間、「ピピピッ」と鳴るまで動き続けます。
脚のせ台は少し遅れて動き出すことがあります。



ボタンに手が届かない角度まで倒すときは、
操作器を手にとって使用してください。

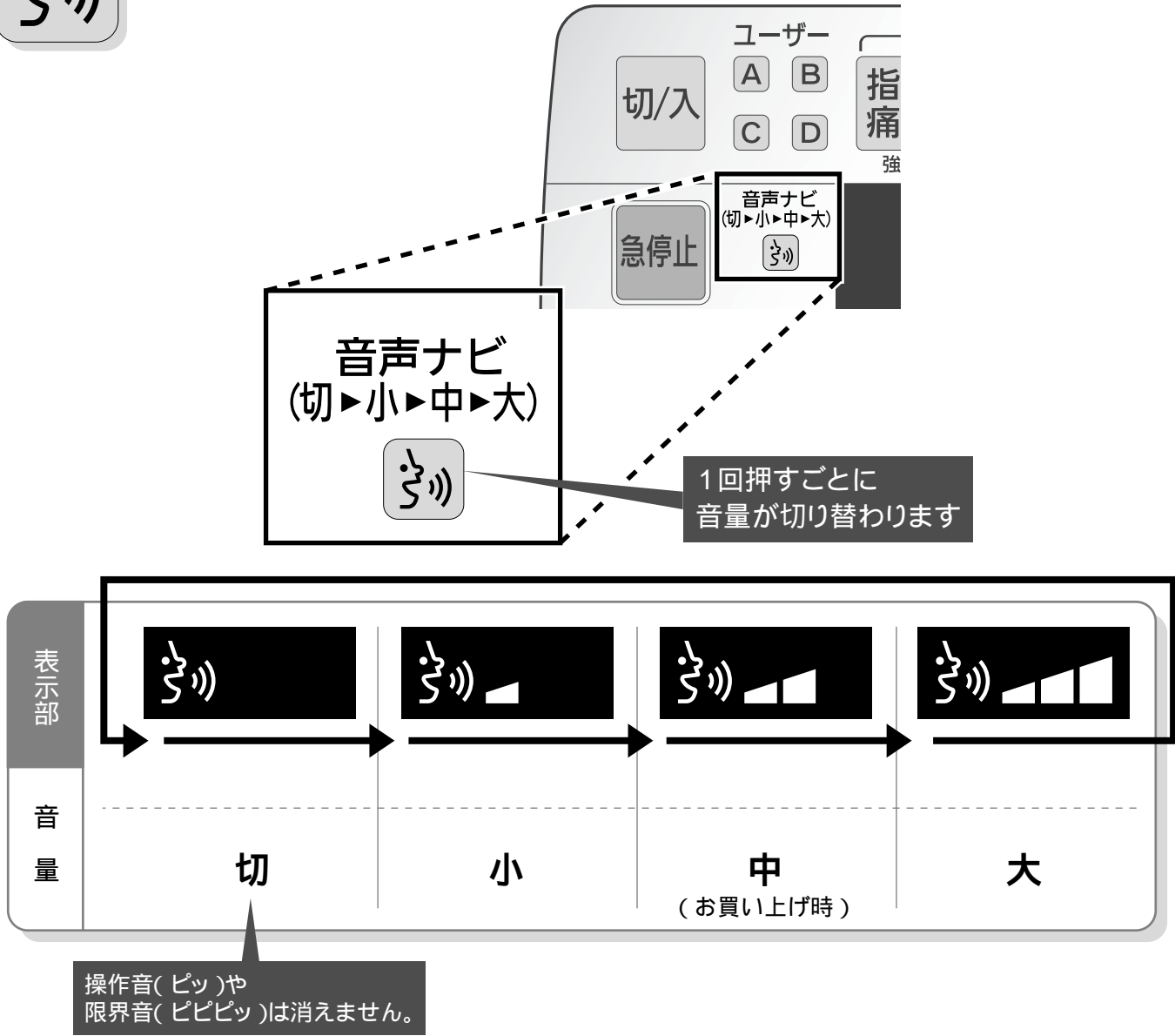
背もたれや脚のせ台の上げ下げを連続して何度も繰り返すなど、お好みの姿勢にする目的以外で使用することはおやめください。

脚のせ台をスライドさせる

脚スライドレバーを引いたままで
お好みの位置にスライドさせる
(脚のせ台スライド量:約12cm)



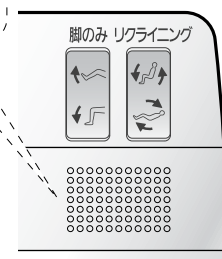
を押し調節する



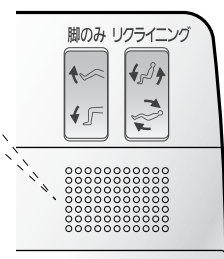
音声ナビ機能について

操作手順や動作の内容を簡単に説明する機能です

点滅しているコースの中から
お選びください



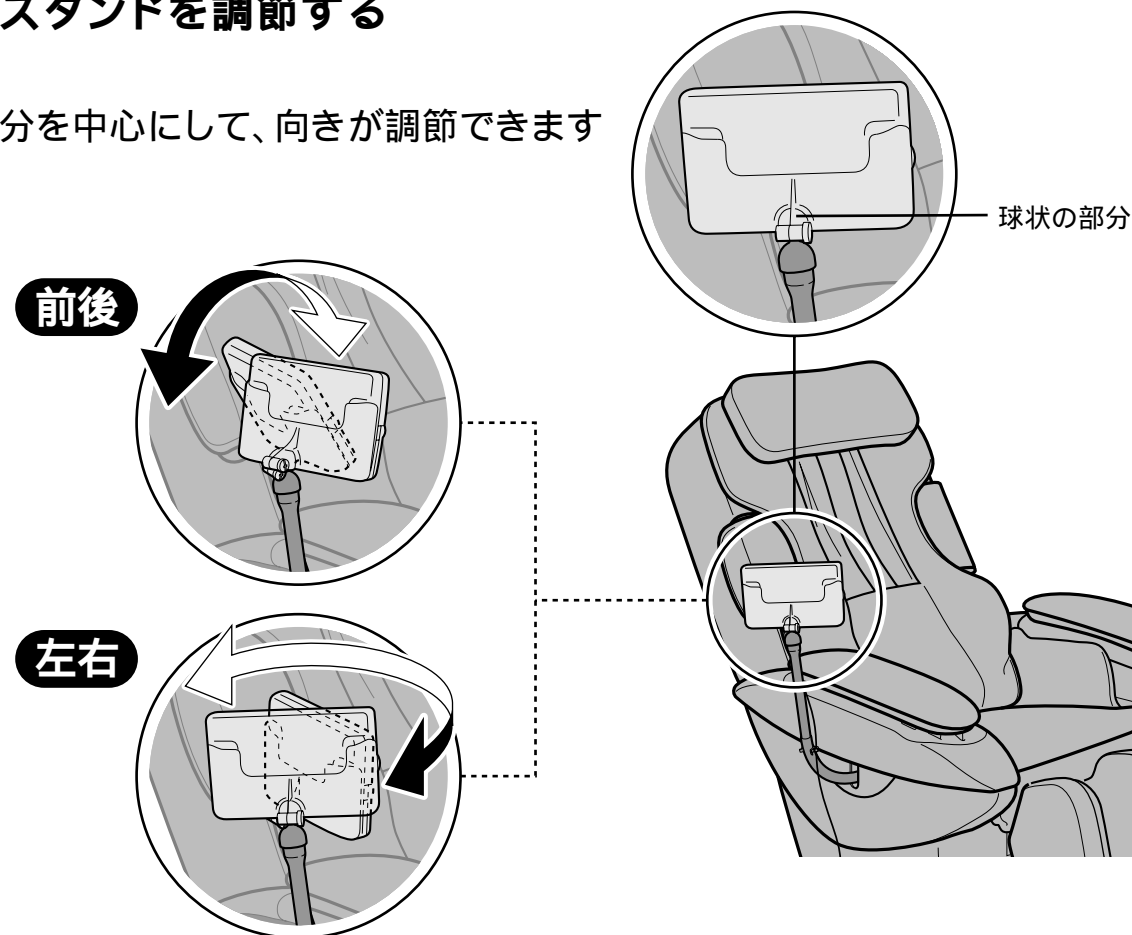
このコースでは、
指圧を中心に、コリの芯まで
しっかりほぐします



操作器スタンドや枕を調節する

操作器スタンドを調節する

球状の部分を中心にして、向きが調節できます



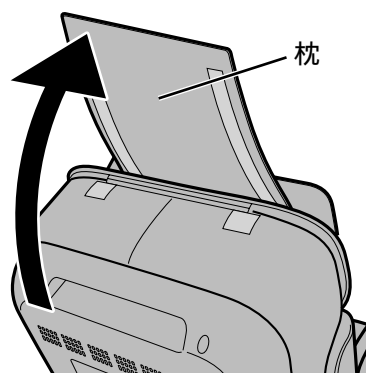
枕を正しく調節する

枕をはがす

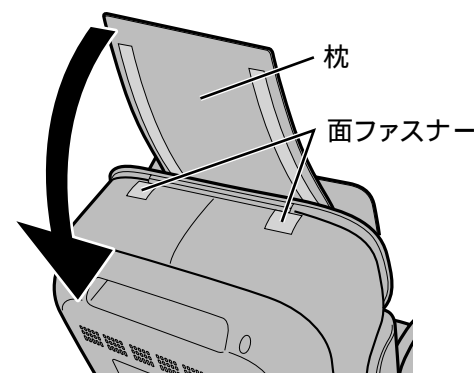
枕の下端が耳の位置にくるように調節する

枕の位置が低すぎると、首周辺のマッサージのさまたげになります。

面ファスナーに枕を取り付ける



リクライニング角度が変わると枕の位置がずれることがあります。そのときは再び調節してください。



ユーザープログラム機能を使う

ユーザープログラム機能とは...

マッサージ中に調節した「そこもっと」や「強さ」などの内容を登録したり登録した内容でマッサージをはじめられる機能です。

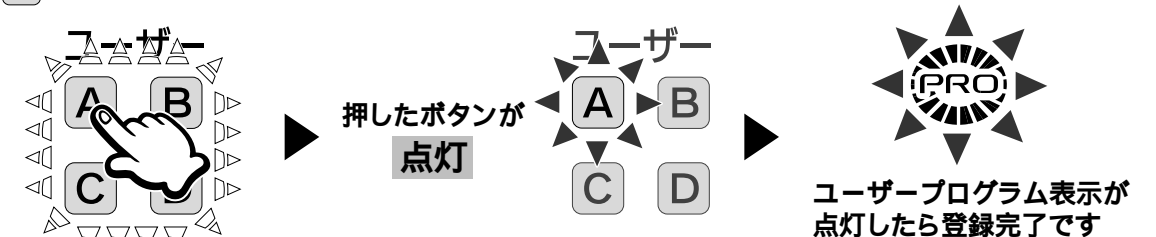
ユーザープログラムを登録する

登録できる内容についてはP.49参照

コース終了後、または **切/入** を押して終了すると **ユーザー A B C D** が点滅し
マッサージ中に変更した内容を登録できる状態になります



ユーザー **A B C D** が点滅している間(約15秒間)に登録したいボタンを押す

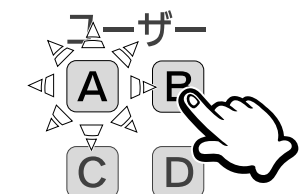
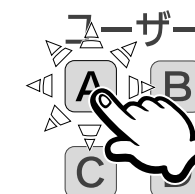
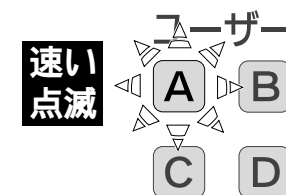


選んだボタンが **速い点滅** をはじめたとき

すでに別の設定内容が登録されています。

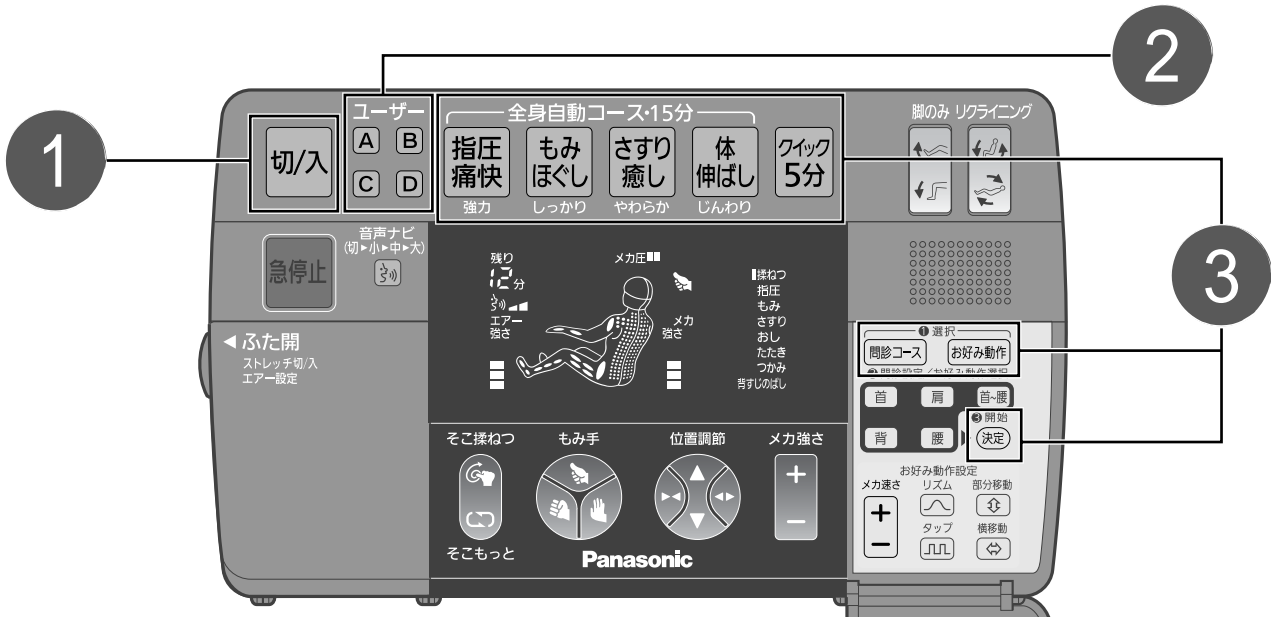
新しいプログラムに更新する場合
もう一度同じボタンを押す

すでに登録されているプログラムを消したくない場合
別のボタンを押す



(速い点滅をはじめてから約15秒以内に操作してください。)

登録したプログラムでマッサージする



1 切/入 を押して、電源を入れる
(マッサージをしていない状態で3分以上操作しないと、自動で電源が切れます。)

2 登録した **ユーザー** **A B C D** を押す **PRO** 点灯します

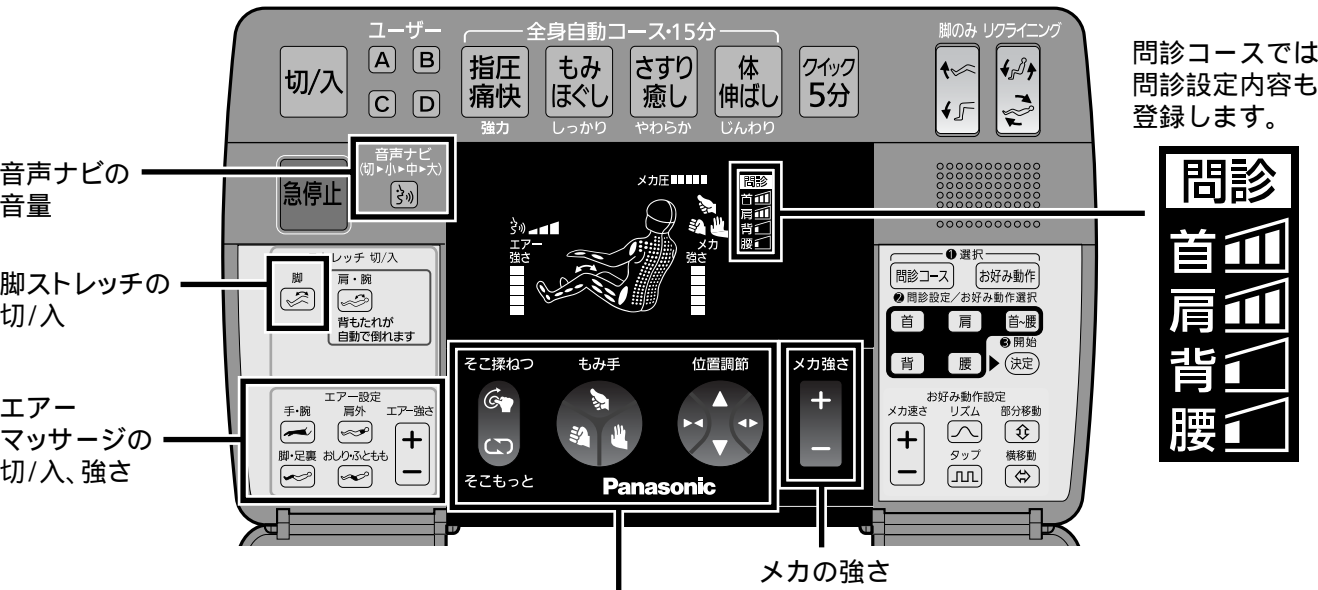
3 全身自動コース・クイック5分コース
問診コース
お好み動作から選ぶ
問診コース・お好み動作の場合は登録した内容で開始します
(決定) を押さなくても、マッサージがはじまります。
内容を変更することもできます。そのときは、変更後 (決定) を押してください。
▼
体型センシングに続き、マッサージがはじまります

登録できる内容について

登録するのは、コースやお好み動作を終了する直前の内容です。

全身自動コース・クイック5分コース・問診コースの場合

もみ手以外は全コース共通の設定として登録します。



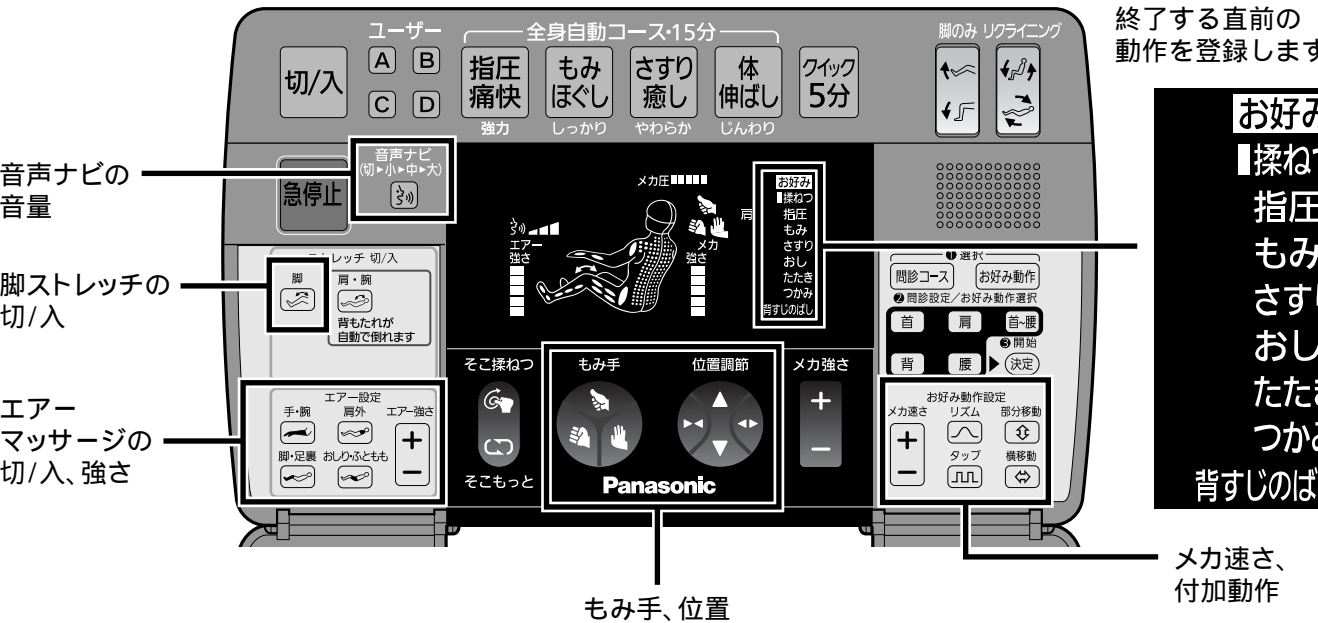
そこ揉ねつ・そこもつ・位置調節

それぞれについて各コース8回分登録できます。
登録が8つを超えると、古い順に消去されます。
詳しい機能はP34～35参照

もみ手

登録するのは最後に選択していたもみ手です。
コースごとの設定を登録します。
詳しい機能はP34・36参照

お好み動作の場合



終了する直前の動作を登録します。

お好み
揉ねつ
指圧
もみ
さすり
おし
たたき
つかみ
背すじのばし

登録している内容を消したい場合

- 1

切/入を押して、電源を入れる
(電源を入れてから3分以内に何も操作しないと、自動で電源が切れます。)
- 2

消したいボタンを押す
ユーザー
A B
C D
押したボタンだけが点灯します
- 3

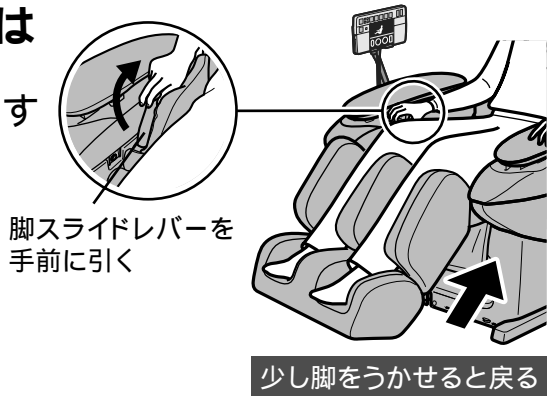
指圧 痛快 もみ ほぐし さすり 癒し 体 伸ばし クイック 5分
もう一度消したいボタンを3秒以上押す
ユーザー
A B
C D
押したボタンが点滅します
- 4

点滅している間(約15秒間)に
もう一度ボタンを押す
ユーザー
A B
C D
速い点滅から点灯に変わったら消去完了です

マッサージを途中で終了したいときは

脚のせ台のスライドを完全に戻し 切/入 を押す

もみ玉が収納位置まで動きます。
自動で脚のせ台が下がり背もたれが起きます。
(背もたれはもみ玉が収納してから動きます。)



タイマー機能について

マッサージを開始してから約15分で自動的に停止します

足裏部が倒れるので、安全に立ち上がれるように
脚のせ台が自動で下がります。

脚のせ台のスライドを伸ばしている場合は
足裏部が床にあたって完全に収納されません。
完全に収納するには脚スライドレバーを引き、
脚を浮かせてください。

背もたれは自動では起きません。
切/入 を2回押すと背もたれが起き上がります。



マッサージが終了するとユーザー A B C D が点滅し
マッサージ中に変更した設定内容を登録できる状態になります

登録しない場合は

操作の必要はありません。
約15秒後に自動的に終了します。

登録する場合は

P.47～50「ユーザープログラム機能を使う」を
参照してください。

異常を感じたときは

急停止 を押す

すべての動作がその場で停止します。
この場合は、ユーザープログラムを登録することはできません。
転倒に十分注意しながら、本体から降りてください。

マッサージを終了する(続き)

電源を切る

警告

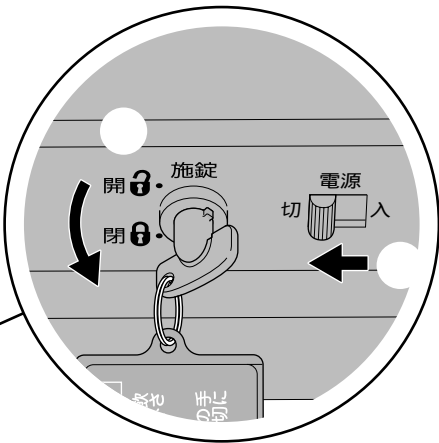
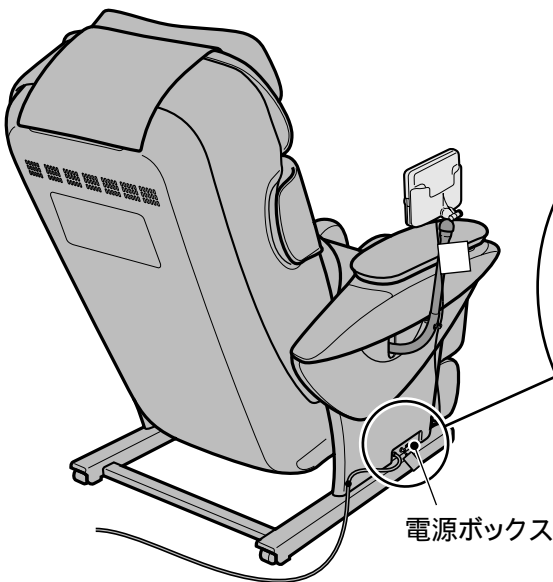
- 使用後は必ず電源スイッチを「切」にし、施錠スイッチを「閉」にし、施錠キーを抜く。
守らないとお子様のいたずらによる事故やけがのおそれがあります。

注意

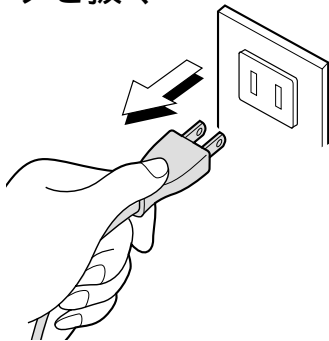
- 使用時以外は電源プラグをコンセントから抜く。
ホコリや湿気で絶縁劣化になり、漏電火災の原因になります。
- 電源プラグを抜くときは電源コードを持たず、必ず電源プラグを持って抜く。
守らないと感電やショートのおそれがあります。
- 施錠キーは、子供の手の届かない場所に保管する。
守らないと誤飲やいたずらによる事故やけがのおそれがあります。

電源スイッチを「切」にする

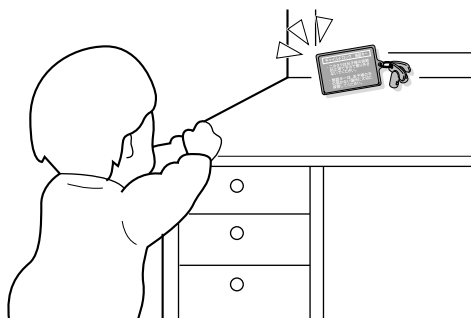
施錠スイッチを「閉」にして 施錠キーを抜く



電源プラグを抜く



子供の手の届かない場所に 施錠キーを保管する



お手入れのしかた

注意

- お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜く。また、ぬれた手で抜き差ししない。
感電ややけどのおそれがあります。

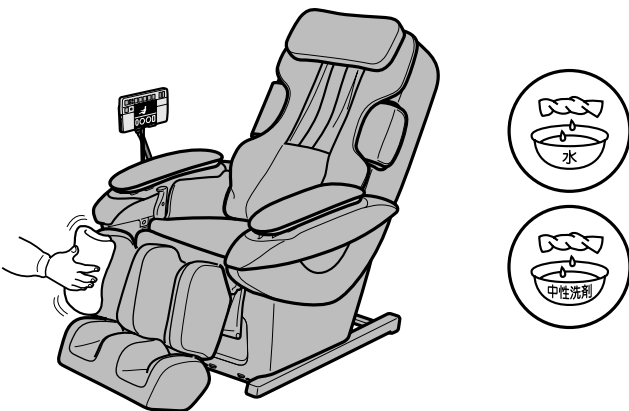
合成皮革部分

柔らかい乾いた布でふく

市販のレザーお手入れ用品(化学ぞうきん、薬品など)
をご使用の際は、その注意書に従ってください。
合成皮革が変質するおそれがあります。

汚れがひどい場合は、以下の手順でふきとってください。
水または中性洗剤をぬるま湯で3 ~ 5 % 位に
うすめたものに、柔らかい布をひたし、よくしぼる。
表面をたたくようにふく。
水を含ませた布をよくしぼってから、
洗浄液をふきとる。
柔らかい乾いた布でふく。
自然乾燥させる。

汚れが落ちにくい場合は、市販の「メラミンフォーム材質のスポンジ」で同様に中性洗剤を含ませふき取ってください。
ドライヤーなどで急激に乾燥させないでください。
合成皮革部に色移る場合がありますので、ジーンズや色柄ものなど、色落ちしやすい衣類でのご使用はご注意ください。
変色の原因になりますのでビニール製品などを長時間接触させないでください。
シンナーやベンジン、アルコールは絶対使用しないでください。



パイプ・プラスチック部分

中性洗剤を含ませた布を
よくしぼってからふく
シンナーやベンジン、アルコールなどの薬品は
絶対使用しないでください。

仕上げに水を含ませた布を
よくしぼってからふく
操作器をお手入れする際は、
特によくしぼってからふくようにしてください。

自然乾燥させる



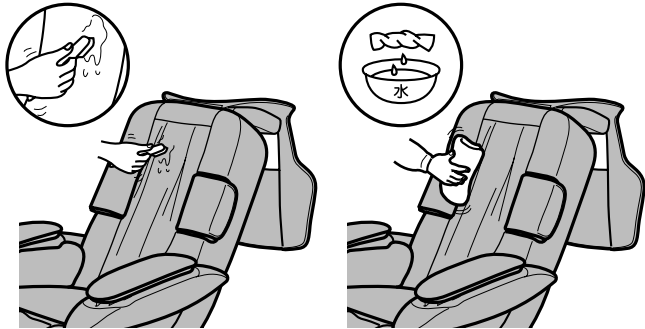
布地部分

中性洗剤を含ませ、
よくしぼった布でふく
シンナーやベンジン、アルコールなどの薬品は
絶対使用しないでください。

特に汚れがひどい場合は、水または中性
洗剤でブラシ洗浄する
こすりすぎると、布地をいためることがあります。

仕上げに水を含ませ、
よくしぼった布でふく

自然乾燥させる



本体を移動するときは

⚠ 注意

- 本体を移動するときは、必ず脚のせ台のスライドを完全に戻す。守らないと移動中にスライドが戻り、けがをするおそれがあります。
- 設置された状態のまま、本体を引きずったり押ししたりしない。
- 床やたたみの上で、キャスターを使って移動させない。(必ずマットを敷いてください。)
- 床やたたみに傷がつくおそれがあります。
- 人をのせたまま移動しない。転倒による事故やけがのおそれがあります。
- キャスターで移動するときは、周囲の障害物を取り除き、背もたれを完全に起こした状態で脚のせ台を腰より低く持ち上げ(床から約80cm以下)、ゆっくり移動する。守らないと転倒による事故やけがのおそれがあります。

持ち上げて運ぶとき

前後から二人で
脚のせ台の裏側の布地部と
背もたれの裏カバーの溝を
持って移動する



本体を下ろすときは

十分足元に注意して
ゆっくり下ろしてく
ださい。
脚のせ台は最後ま
で手をそえて下ろし
てください。
途中で手を離すと勢
いよく戻ります。

正しい持ちかたをしないと、本体を落として床を傷つけるおそれがあります。
特にひじ掛けを持って運ぶと破損のおそれもありますので絶対におやめください。

キャスターで移動するとき

脚のせ台の裏側の布地部を持ち、
キャスターで移動する



本体を下ろすときは

十分足元に注意して
ゆっくり下ろしてく
ださい。
脚のせ台は最後ま
で手をそえて下ろし
てください。
途中で手を離すと勢
いよく戻ります。

Q & A

使用できますか？

Q 病気で通院しているけど、
使ってもだいじょうぶ？

A 通院先の医師と相談のうえ、
使用してください

マッサージは「触圧刺激」といって、筋肉に圧力
をかけてほぐし、血行を促進する行為です。病気
によっては、悪化を招く可能性もありますので、
必ず医師に相談してください。
(P.4 ~ P.5参照)

体型センシング について

Q 体型センシングって
どんな動きをするの？

A 以下のような動きかたをして
肩位置を検出します

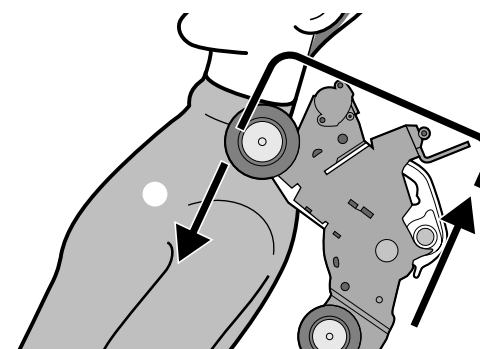
「ピコン、ピコン...」という体型センシング音と
ともに、もみ玉が背すじにそって首付近まで上
昇します。

もみ玉がせり出てきます。
(肩位置が合っていない場合には再度上昇し、
肩位置を合わせる動作を繰り返します。)

もみ玉が肩位置までゆっくり下がってきます。

肩の位置でたたき動作を約15秒間行ないます。

センシング...測定動作のこと



正しく体型センシングできる身長の目安は
約140cmから約185cmの範囲です。

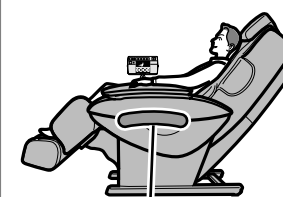
Q 身長が約140cm未満の人や、
約185cm以上の人
は使えないのですか？

A お使いいただけます

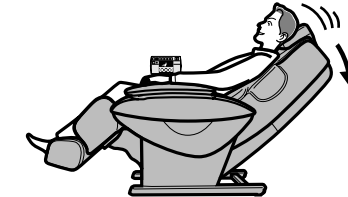
体型センシングの際に、肩位置が合わない場合が
ありますので、下記のような方法でご使用するこ
とをおすすめします。

約140cm未満の場合

約185cm超の場合



座面に座布団を敷いて
深く腰かけて
お使いください。



背もたれを倒して
前へ体をずらして
お使いください。

Q 体型センシングやマッサージの途中で
「人体が検知できませんので、安全のため
マッサージを終了します」という音声
が流れて動作が終了したのですが...？

A 以下のような理由で、人体を検知でき
ない場合は安全のため停止します

人が座っていない。
頭や背中を背もたれから浮かせている。
背もたれ部にクッションなどの敷物をしていた
り、厚手の服を着ている。

深く腰かけ、頭を枕につけるように
ゆったりもたれ、

再度 **切/入** を押してはじめてください。

Q 体型センシングしても肩位置が
合わないのですが...
(毎回、肩位置がずれるのですが)

A 座る位置や姿勢(前かがみなど)によっ
て正しく体型をセンシングできない場
合があります

位置調節ボタンで肩位置を調節してください。
(P.25参照)

より正しくセンシングするためには、椅子に深く
腰かけ、頭を枕(背クッション、背もたれ)につけ
るようゆったりともたれてください。

「メカ圧」表示について

Q 操作器の表示部に「メカ圧」の表示がありますが、どういう意味があるのですか？

A 「メカ圧」とはメカ(もみ玉による上半身のマッサージ)により体にかかる圧力を示します

マッサージのときにメカ圧が強すぎたり、弱すぎたりした場合、自動的に強さを微調節します。
(体圧フィードバック機能)

肩の上は敏感な部位であるため、上記のようにより慎重にメカ圧を確認します

自動コースで肩の上をマッサージする直前には、その前に肩の上をマッサージしていたときのメカ圧と比較します。

異なるメカ圧を検知すると、最適なメカ圧で体にあたるように自動で調節し、たたき動作がはじまります。

(たたき動作中に、位置調節ボタンの上下で微調節することができます)

もし、あたる力が強すぎたり、弱すぎたりする場合は、たたき動作中に、位置調節ボタンの上下で調節してください。

上半身のマッサージについて

Q 位置・強弱などの調節をしてもすぐに動作が切り替らないのですが...

A 調節ボタンを押したタイミングによっては、すぐに切り替らないことがあります
(わずかな時間差がありますが、異常ではありません)
また、ボタンを押して「ピピピッ」と音が鳴るときは、限界点まで達しており、それ以上調節できません

Q 左右の強さが異なるように感じるけれどだいじょうぶ？

A 構造上異なって感じる場合があります

より自然な感覚でマッサージを行うために交互たたき機能を採用している関係で、もみ玉の位置がずれて動作することがあります。そのため左右で強さが異なって感じるがありますが、故障ではありません。

Q より強くマッサージする方法はありますか？

A 次のことを試してください

背クッションを背もたれのうしろにはね上げる。
背もたれを倒す。(もみ玉に自分の体重が、かかるようになります)
深く腰かけ、体をしっかりと背もたれに密着させる。

Q 自動コース中にもみ玉が一瞬だけポンとたたくような動作をすることがあるのですが？

A もみ手が手のひら感覚から親指感覚に切り替わる動作です

お好み動作の背すじのばしのとき首から肩にかかる位置でも、一時的にもみ手が親指感覚に切り替わります。これは下のもみ玉が肩に強くあたることを防ぐための動きで異常ではありません。

手・腕のマッサージについて

Q 手・腕マッサージは左右同時にできないの？

A 異常や危険を感じたときに、すぐ停止できるように左右交互にマッサージしています

Q 手・腕エアーマッサージの後、手・腕の裏に赤い点が残るんですが...

A 使用後、手や腕にマッサージのあとが残る場合があります
時間とともに消えていきますので問題ありません

音声ナビについて

Q 音声を「切」にしているのに「ピッ」または「ピピピッ」という音が切れないのですか？

A 「ピッ」または「ピピピッ」などの電子音は安全上、動作や状態を音で知らせるためのものであり、切れないようにしています

音声のみ「切」となります。

リクライニングについて

Q 自動リクライニングしない場合がありますか？

A あります
マッサージポジションより背もたれが倒れ、脚のせ台が上がっている場合はリクライニングしません。

Q マッサージが終わったとき、リクライニングが自動で戻るときと戻らないときがありますが...

A **切/入** を押してマッサージを終了すると、自動でリクライニングがもどります
以下の場合には戻りません

急停止 で終了した場合。
(その場ですべての動作が停止します)

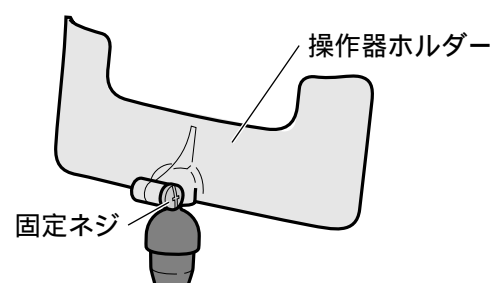
15分タイマーで終了した場合。
(脚のせ台だけ戻ります)

操作器について

Q 操作器ホルダーがぐらぐらするのですが...

A 固定ネジをドライバーなどで締めなおしてください

操作器ホルダー部がはずれた場合は、固定ネジをゆるめてからはめこみ、再度固定ネジを締めてください。

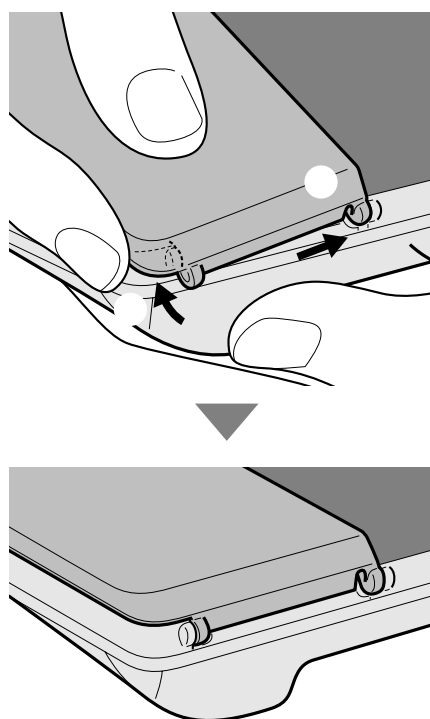


Q 操作器のふたがとれてしまったけど、直りますか？

A 下記の手順で取り付けてください
(説明は左側のフタの取り付けかたです)

操作器ふたの右下部を
本体の突起部に合わせる。

操作器ふたの左下部の溝(誘い部)に
本体の突起部を合わせ、
矢印の方向へ押し込む。



Q 操作器があたたかくなったのですが？

A 異常(故障)ではありません
連続して使用すると操作器があたたかくなる場合があります
15分使用した後は10分程休みましょう。

ユーザープログラム機能について

Q ユーザープログラム機能を使うと、元の自動コースは使えなくなるの？

A 自動コースを始めるときに、ユーザーボタンを押さずに使用すれば、元々の自動コースでマッサージします

Q コースの内容が変わっている気がしないのだけど...

A 元々の自動コースは、プロのマッサージ師が行う動作を参考に作られています。その基本的な動作を守りながら変更するため、マッサージ1回の変更では大きくコースの内容が変わったと感じにくいことがあります。ただし、プログラムは繰り返し好みに合わせて内容を更新することができますので、より好みのマッサージコースにすることができます。

その他

Q 1ヵ月の電気代はいくらですか？

A 1日30分(15分×2回)で毎日使用した場合、約38円/月(税込み)です
(新電力料金目安単価22円/kwh(税込み)で計算)

Q 長く使っていて音が大きくなってきましたが...

A 故障の場合も考えられますので販売店に点検・修理をご依頼ください

Q タイマー機能はついていますか？

A ついています
使いすぎ防止のために、マッサージをスタートさせてから約15分(クイック5分コースは約5分)で自動的に終了します。
タイマーが切れると、脚のせ台が自動で下がり、もみ玉が下部に移動して収納状態で止まります。
再度ご使用のときは、**切/入** を押してください。
15分使用した後は10分程休みましょう。
1日2回まで30分を目安にご使用ください。

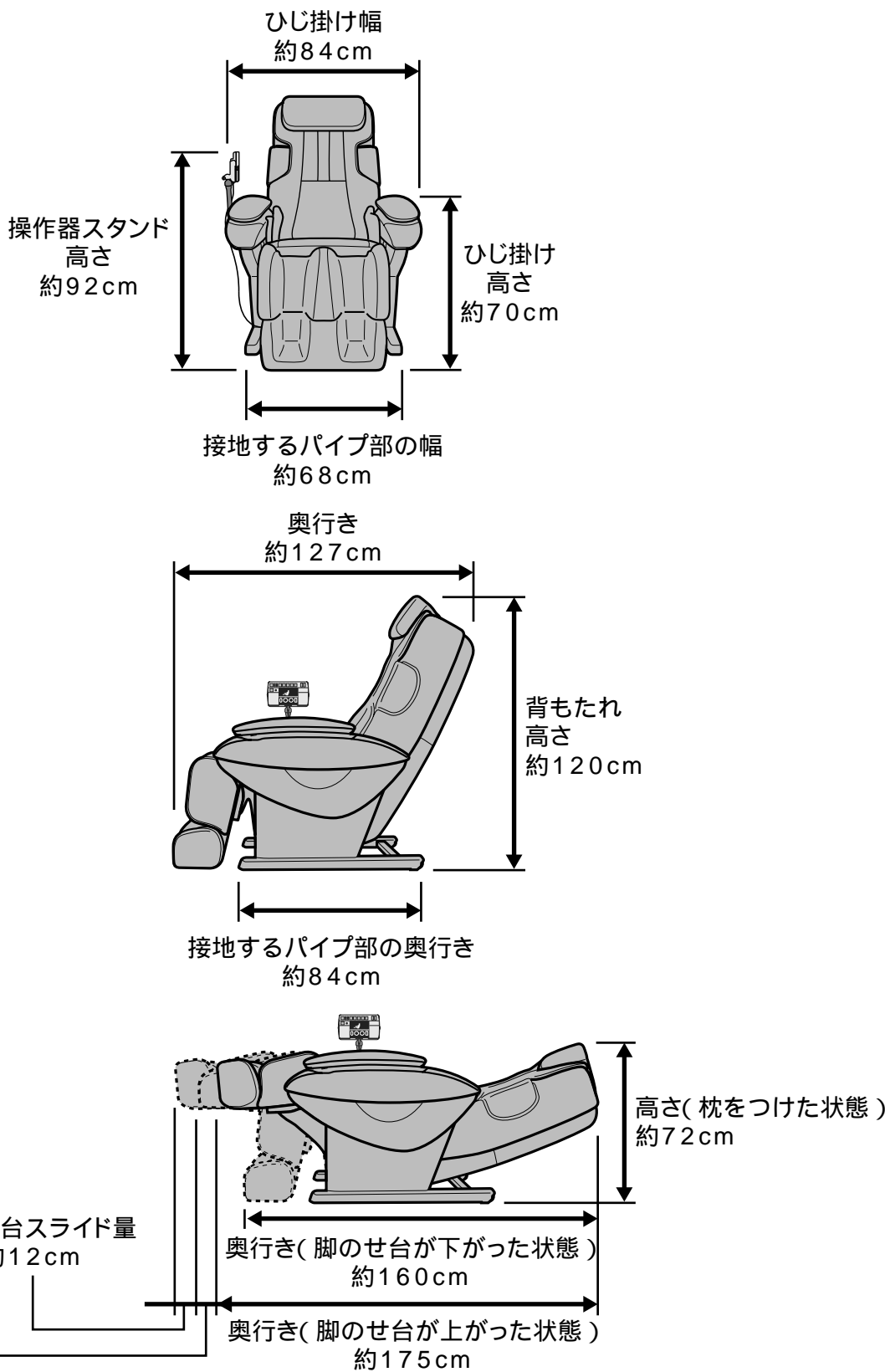
Q マッサージするとき以外に、椅子としても使用したいのですが...

A この製品は、もみ玉によるマッサージをするために、背もたれ部分にくぼみがあります。
椅子としてお使いになるときは、背もたれ部分にお手持ちのクッションなどを置くことをおすすめします。

その他

Q 本体の寸法を教えてください

A 下記の図をご参照ください



販 売 名	リアルプロ EP7000	
使 用 電 源	交流100V 50-60Hz	
消 費 電 力	115W(操作器で「切」のとき約0.3W)	
類 別	機械器具77 パイプレーター	
一 般 的 名 称	家庭用電気マッサージ器(JMDNコード 34662000)	
医 療 機 器 の 種 類	管理医療機器	
医 療 機 器 認 証 番 号	223AKBZX00159000	
上半身マッサージ	施療範囲(上下方向)	約76cm(もみ玉移動距離約65cm)
	施療範囲(左右方向)	もみ動作時のもみ玉間隔(もみ幅調節) 首・肩・背・腰部 約5cm～約21cm
	施療範囲(前後方向)	もみ玉の突出量(強弱調節)約10cm
	マ ッ サ ー ジ 速 さ	もみ 約6回/分～約50回/分 たたき 約250回/分～約450回/分(片側) 移動速さ 約1～約5cm/秒
	横 移 動 / 上 下 移 動 距 離	横 移 動 : 約5cmの範囲で左右方向に自動反復 上下移動(全体) : 約76cmの範囲で上下方向に自動反復 上下移動(部分) : 約10cmの範囲で上下方向に自動反復
	マ ッ サ ー ジ 幅	背すじのばし・上下移動時 約5cm～約17cm(もみ玉の幅含む) 上記以外 施療範囲(左右方向)と同じ
エアーマッサージ	エ ア ー 圧 力 (ふ く ら は ぎ)	5...約32kPa 4...約30kPa 3...約25kPa 2...約19kPa 1...約 8 kPa 部位によって若干の違いがあります。
リ ク ラ イ ニ ン グ 角 度		背もたれ...約120度～約170度 脚のせ台...約0度～約85度
タ イ マ ー		約15分(クイック5分コースは約5分)で自動で切
大 小 寸	リクライニングして い な い と き	高さ約120cm×幅約84cm×奥行約127cm
	リクライニングした と	高さ約72cm×幅約84cm×奥行約195cm
質 量	約78kg	
張 地	合成皮革	
製 造 販 売 元	パナソニック株式会社 東京都港区西新橋2-38-5 西新橋MFビル	
製 造 元	上海松下電工有限公司 中華人民共和国上海市松江工業区江田東路258号	
製 造 国 名	中華人民共和国	

故障かな?と思ったとき

症 状	原因と処置
もみ玉が途中で止まる (操作器の動作表示部やボタンがすべて点滅して消灯する)	ご使用中、無理に力がかかった場合、安全のためにもみ玉の動きが止まる場合があります 表示部やボタンがすべて点滅してもみ玉の動きが停止した場合、本体の電源スイッチを一度切り、約10秒後に再度「入」にしてから操作してください。再度止まる場合は、体を浮かし気味にしてご使用ください。 (特に体重100kg以上の方がご使用になるときはご注意ください。)
リクライニングができない 脚のせ台の上げ下げができない (操作器の動作表示部やボタンがすべて点滅して消灯する)	障害物にあたるなど、ご使用中、無理に力がかかった場合、安全のために動作が止まる場合があります。 表示部やボタンがすべて点滅して背もたれ、または脚のせ台が停止した場合、本体の電源スイッチを一度切り、約10秒後に再度「入」にしてから操作してください。
もみ玉が肩や首の位置まで来ない	頭が枕から離れていたり、背中が浮いていると体型センシングのときに、肩の位置を実際より下に検知してしまう場合があります。深く腰かけ、頭を枕につけてマッサージを最初からやり直してください。 P.25参照
左右のもみ玉の高さ(強さ)が異なる	交互たたき機構を採用しているため、やむをえず発生するもので故障ではありません。 P.56参照
自動コースでマッサージをスタートしてもリクライニングしない (自動リクライニングしない)	背もたれや脚のせ台の位置(角度)により自動リクライニングしない場合があります。 P.58参照
リクライニングが自動で戻らない	タイマーが働いて終了したときや 急停止を押して終了したときは自動で戻りません。 (リクライニングを戻したい場合は 切/入 を2回押してください。)
動作しない 上半身(首~腰)のマッサージ ふくらはぎ~お尻のマッサージ 手・腕のマッサージ	電源プラグが抜けている。 P.20参照 本体の電源スイッチが「切」になっている。 操作器の 切/入 を押したあと、コースボタンや動作選択ボタンを押していない。
手・腕のマッサージができない	ひじ掛けのエアープラグが抜けている。 P.14参照
マッサージ停止後に再度 切/入 を押しても電源が入らない	終了処理中(約5秒間)のため 切/入 を受けつけない場合があります。 すべての動作が終了して、約5秒以上たってから 切/入 を押してください。
破損してしまった	
電源コード、プラグが異常に熱い	

動作中発生する音や感覚について

ご使用中に下記のような動作音や感覚がありますが、構造上発生するものですので異常ではありません。

- 動作時にもみ玉が生地のシワを乗り越えるときの音・感覚(ポコン音・カクン音)
もみ・たたき動作などの動作音(カタカタ音・ピチピチ音・シャカシャカ音)
もみ玉動作時のキシミ音(キシキシ音)
上下動作時の動作音(カタカタ音)
ベルトの回転音(シュルシュル音)
モーター音(ウォーン音・ウィーン音・ジー音)
もみ玉が『押し』から『引き』に変わる際の音(カクン音)
着座時の音(ギュッ音)
- リクライニング時のひじ掛けと背クッションのこすれ音(ギュー音)
もみ玉と布のこすれ音(ギュッギュ音)
エアーの加圧動作音(ブー音)
エアーの排気音(シュー音・スー音)
脚のせ台のガタつき
座面下からのポンプ動作音(ピー音・ウーン音・ブーン音)
座面下からのバルブ動作音(コツ音)
脚ストレッチ、動作時のカクン音

点検後なお異常がある

ただちに使用を中止

お願い

このような場合、事故防止のため必ず販売店または「修理ご相談窓口」にご相談ください。

警告

- 絶対に改造しない。また、ご自分で分解したり、修理をしない。
発火したり、異常動作して、けがをするおそれがあります。

注意

- 動かない場合や、異常を感じたときは使用を中止し、すぐに電源プラグを抜いて点検修理を依頼する。
守らないと感電や発火のおそれがあります。

お知らせ

お知らせ

メモ

Blank lined area for notes on page 64.

メモ

Blank lined area for notes on page 65.

